

工 事 名		令和7年度 公園施設長寿命化対策支援事業 豊科南部総合公園キュービクル・テニスコート照明更新工事												
施 工 箇 所		安曇野市 豊科南部総合公園												
		金抜設計書												
設 計 概 要							施 工 方 法			請 負				
豊科南部総合公園キュービクル・テニスコート照明の更新工事 ・キュービクルの更新 ・キュービクルの更新に係るケーブル等の更新 ・テニスコートの照明更新（上部灯具のみ）、塗装 ・照明制御設備の更新 等							施 工 期 間			契約日～令和8年3月17日				
							担当課			都市計画課 公園緑地担当				
							工事担当課			財産管理課 施設経営担当				
							契約保証方法			金銭的保証				
							・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							

総括表

	名 称	数 量	単位	金 額	摘 要
A	直接工事費	1	式		
B	共通仮設費	1	式		
	純工事費				
C	現場管理費	1	式		
	工事原価				
D	一般管理費	1	式		
	工事費 計				
E	消費税	1	式		
	合 計				

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	直接工事費						
1	受変電設備 更新工事		1.0	式			
2	テニスコート照明設備 更新工事		1.0	式			
3	その他 工事		1.0	式			
	直接工事費 計		1.0	式			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1	受変電設備 更新工事						
1-(1)	高圧引込設備 更新工事		1.0	式			
1-(2)	高圧引込設備 撤去工事		1.0	式			
1-(3)	キュービクル 更新工事		1.0	式			
1-(4)	フェンス 更新工事		1.0	式			
1-(5)	産廃処分費		1.0	式			
	1の計		1.0	式			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2	テニスコート照明設備 更新工事						
2-(1)	照明制御設備 更新工事		1.0	式			
2-(2)	照明制御設備 撤去工事		1.0	式			
2-(3)	テニスコート照明設備 更新工事		1.0	式			
2-(4)	テニスコート照明設備 撤去工事		1.0	式			
2-(5)	予告回転灯設備を外灯に変更する工事		1.0	式			
2-(6)	予告回転灯設備 撤去工事		1.0	式			
2-(7)	照明ポール及びテニスコート照明盤 塗装工事		1.0	式			
2-(8)	産廃処分費		1.0	式			
2-(9)	仮設工事		1.0	式			
	2の計		1.0	式			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3	その他 工事						
3-(1)	上屋新設工事						
3-(2)	サイン工事						
3-(3)	地盤整備工事						
	3の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	細目別内訳						
1	受変電設備 更新工事						
1-(1)	高圧引込設備 更新工事						
	PAS 7.2kV 200A、SUS製、方向性	モールドコーン形、DGR共	1.0	台			
	LA 8.4kV 2,500A		3.0	台			
	端末処理（屋外）	6kV CET38sq用	1.0	個			
	端末処理（屋外）	6kV CET38sq用	1.0	個			
	高圧ケーブル	6kV CET38sq（FEP）	16.0	m			
	支線材		1.0	式			
	支線ガード		1.0	個			
	赤色回転灯	G,100V	1.0	台			
	同上 LEDランプ		1.0	個			
	同上 支持金物		1.0	個			
	引込管用ゴムキャップ	6kV CET38sq用	1.0	個			
	電線管	HIVE(28) 露出	8.0	m			
	DGR用付属ケーブル	0.75sq-9C（管内）	10.0	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1-(2)	高圧引込設備 撤去工事	再使用なし					
	PAS 7.2kV 300A	GR共	1.0	台			
	LA 8.4kV 2,500A		3.0	台			
	高圧ケーブル	6kV CVT38sq (管内)	15.0	m			
	支線材		1.0	式			
	自動点滅器		1.0	個			
	赤色回転灯		1.0	台			
	電線管	VE(22)	8.0	m			
	高所作業車(トラック架装)	ブーム、バケット型、12m	1.0	日・台			
	1-(2)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1-(3)	キュービクル 更新工事						
	キュービクル更新	材工共	1.0	式			
	内訳						
	LBS 7.2kV 200A	4 台					
	絶縁バリア	1 個					
	PF 7.2kV G20A 40kA	3 本					
	PF 7.2kV G30A 40kA	3 本					
	PF 7.2kV G40A 40kA	2 本					
	PF 7.2kV G50A 40kA	6 本					
	Tr 1φ 6.6kV 100kVA 油入	1 台					
	Tr 3φ 6.6kV 100kVA 油入	1 台					
	Tr 3φ 6.6kV 50kVA 油入	1 台					
	LBS 7.2kV 200A AX.TC付	1 台					
	PF 7.2kV G10A 40kA	3 本					
	直列リアクトル, 2.3kVar モールド	1 台					
	SC 6.6kV 36kVar L=6%	1 台					

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	LGR	3 台					
	ZCT 100A	3 個					
	現場調査費	1 式					
	現場加工配線費	1 式					
	警報盤		1.0	面			
	移動式クレーン費用	ラフター 10 t	1.0	日・台			
	リレー試験・耐圧試験費用	DGR,高圧ケーブル、高圧回路	1.0	式			
	1-(3)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1-(4)	フェンス 更新工事						
	既存フェンス撤去費	鋼製支柱+クリップ 金網 H=1.8*0.45 24m 同上門扉W2m*H1.8m 基礎200*200*400 14ヶ	1	式			
	【新規ネットフェンス製品代】						
	ネットフェンス	H1800+450	24.0	m			
	門扉	W2000*H1800 両開き戸	1	箇所			
	PC基礎	200*200*450	14	個			
	運搬費	製品代*15%	1	式			
	【現場工事費】						
	基礎根切り	撤去工事に含む					
	碎石	300*300 t 100 14か所	0.15	m3			
	基礎コンクリート設置費	14か所	1	式			
	埋め戻し	発生土	1.2	m3			
	フェンス組立費	基礎埋込外充填共	24	m			
	門扉セット費		1	箇所			
	1-(4)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1-(5)	産廃処分費						
	└ 収集・積み込み費 ┐						
	電材 金属・樹脂 混合物屑		1.35	t			
	フェンス 雑金属		0.12	t			
	コンクリート		0.4	t			
	└ 運搬費 ┐						
	電材 金属・樹脂 混合物屑		1.35	t			
	フェンス 雑金属		0.12	t			
	コンクリート		0.4	t			
	└ 処分費 ┐						
	電材 金属・樹脂 混合物屑		1.35	t			
	フェンス 雑金属		0.12	t			
	コンクリート		0.4	t			
	1-(5)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2	テニスコート照明設備 更新工事						
2-(1)	照明制御設備 更新工事						
	照明点灯盤	屋外防水自立型、ベース付	1.0	面			
	プルボックス	250X250X200 WP,HDZ	2.0	個			
	呼び線	1.2mm ビニル被覆鉄線	42.0	m			
	電線管	FEP (50)	210.0	m			
	電線	EM-IE 5.5sq	44.0	m			
	ケーブル	EM-CE 5.5sq-2C (FEP管内)	176.0	m			
	ケーブル	EM-CEE 1.25SQ-20C (FEP管内)	88.0	m			
	掘削	機械	24.0	m3			
	埋戻	機械	10.0	m3			
	砂	サンドクッション用	8.0	m3			
	残土処理	場内敷き均し	14.0	m3			
	カッター入れ	アスファルト舗装面	70.0	m			
	表層アスファルト撤去費	t 30 集積共	34.0	m2			
	アスファルト舗装復旧	歩道用 密粒度アスコン30+不陸調整30+路盤材150	34.0	m2			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	埋設シート	w=150、ダブル	40.0	m			
	埋設標	コンクリート製	1.0	個			
	埋設標	鉄製 ピン型	5.0	個			
	ハンドホール H1-6	蓋 R2K-60 電気マーク入り	2.0	基			
	撤去アスファルト処分費	$34.0 \times 0.05 = 1.7 \text{ m}^3 \times 1.48 \text{ (比重)} = 2.5 \text{ t}$					
	積み込み費		2.5	t			
	運搬費		2.5	t			
	処分費		2.5	t			
	2-(1)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-(2)	照明制御設備 撤去工事	再使用なし					
	照明点灯盤 No,1	スタンド付	1.0	面			
	照明点灯盤 No,2	スタンド付	1.0	面			
	照明点灯盤 No,3	スタンド付	1.0	面			
	照明点灯盤 説明盤	スタンド付	1.0	面			
	2-(2)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-(3)	テニスコート照明設備 更新工事						
	照明器具、A	テニスコート LED型照明器具	80.0	台			
	ジョイントユニット、B（ポール内）	MCB2P30/15A、防水型、取付金具共	80.0	個			
	照明器具、D	電撃殺虫器	12.0	台			
	照明器具（案内板屋根）	建築より支給品取付	1.0	台			
	電線管	HIVE(16) 露出	5.0	m			
	ケーブル	EM-EFF1.6-3C（ポール内）	600.0	m			
	ケーブル	EM-EFF1.6-3C（管内）	6.0	m			
	プルボックス	150x150x100,VE WP	1.0	個			
	照度測定	角度調整含む	1.0	式			
	高所作業車(トラック架装)	ブーム、バケット型、12m	1.0	式			
	2-(3)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-(4)	テニスコート照明設備 撤去工事	再使用なし					
	テニスコート照明器具	HID 1kW、安定器を含む	80.0	台			
	ポール内開閉器		80.0	個			
	ケーブル	VVF1,6-3C (ポール内)	600.0	m			
	電撃殺虫器	d	12.0	台			
	高所作業車(トラック架装)	ブーム、バケット型、12m	1.0	式			
	2-(4)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-(5)	予告回転灯設備を外灯に変更する工事						
	照明器具、E	LED 投光器	10.0	台			
	照明器具取付金物、F	トラスハンガー、落下防止ワイヤー	10.0	組			
	ケーブル	EM-CE 2sq-3C	120.0	m			
	プルボックス	250x250x200 WP,HDZ	10.0	個			
	耐寒、耐侯 防水プリカ	PE17、付属品共	5.0	m			
	結線替	PB内	10.0	ヶ所			
	2-(5)の計						
2-(6)	予告回転灯設備 撤去工事	再使用なし					
	回転灯（赤色）	支持材・プリカ含む	10.0	台			
	ケーブル	CV2sq-2C （管内）	45.0	m			
	プルボックス	250x250x200 WP	10.0	個			
	2-(6)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-(7)	照明ポール及びテニスコート照明盤 塗装工事						
	* 塗装仕様 下地処理(鉄部) RB種 3種以上B の上 耐候性塗料 DP 1級 A種 塗り						
	塗装：照明ポール P 1	8本 □175x2.3m+□125x4.73m+□80x0.65m	36.8	m2			
	塗装：照明ポール P 2	20本 □175x2.3m+□125x4.73m+(□80x0.65m)x2	96.0	m2			
	塗装：照明ポール P 4	8本 □175x2.3m+□125x4.73m+(□80x0.65m)x4	42.0	m2			
	塗装：盤1、テニスコート照明盤NO,1	(0.8wx1.7H)x2+(0.35wx1.7H)x2+0.8x0.35= 4.19m2	4.2	m2			
	塗装：盤2、テニスコート照明盤NO,2	(0.8wx1.7H)x2+(0.35wx1.7H)x2+0.8x0.35= 4.19m2	4.2	m2			
	塗装：盤3、公園照明盤	(0.7wx1.8H)x2+(0.35wx1.8H)x2+0.7wx0.35= 4.025	4.0	m2			
	塗装：ポールボックス.1	(0.4wx0.2H)x2+(0.3wx0.2H)x2+0.4X0.3= 0.4m2	0.4	m2			
	塗装：ポールボックス.2	(0.4wx0.2H)x2+(0.3wx0.2H)x2+0.4X0.3= 0.4m2	0.4	m2			
	塗装：配管1	鋼製電線管 外径114mmX4m	1.5	m2			
	塗装：配管2 細幅	鋼製電線管 外径19mmX3m	3.0	m			
	高所作業車		12.0	台・日			
	2-(7)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-(8)	産廃処分費						
	└ 収集・積み込み費 ┐						
	硝子類		0.77	t			
	金属・樹脂 混合物屑		4.96	t			
	└ 運搬費 ┐						
	硝子類		0.77	t			
	金属・樹脂 混合物屑		4.96	t			
	└ 処分費 ┐						
	硝子類		0.77	t			
	金属・樹脂 混合物屑		4.96	t			
	2-(8)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-(9)	仮設工事						
	高所作業車	各工事項目に含む					
	防球フェンス 仮撤去及び復旧費	W-2m 2箇所	1	式			
	テニスコート床養生材 リース料	ゴムマット 2m*1m t15mm 18枚・30日	1	式			
	運搬費	片道=リース料*15% *往復	1	式			
	敷き手間・移動手間		1	式			
	2-(9)の計						

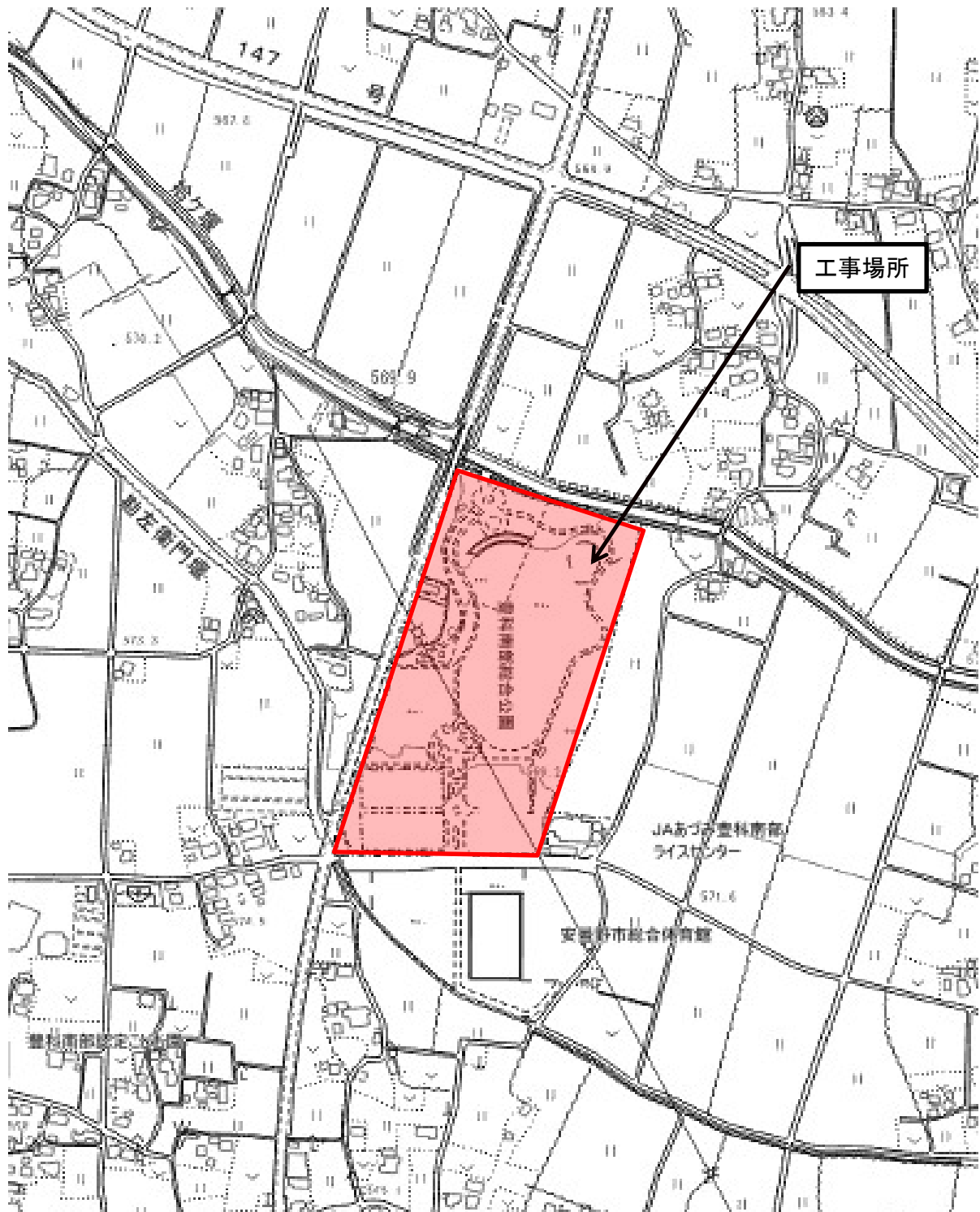
No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3	その他 工事						
3-(1)	上屋新設工事						
	【上屋工事】						
	アルミ製 W1660*L 2400*H2100	(参) 三共アルミ プレカей S 積雪地域型 アルミ屋根 照明器具付	1.0	式			
	運搬費	製品代*15%	1.0	式			
	組立設置費		1.0	式			
	【土間工事】						
	根切り		2.2	m3			
	砕石	新材	0.6	m3			
	埋め戻し		0.8	m3			
	残土処理	場内敷き均し	1.4	m3			
	型枠	打放型枠 運搬費共	6.6	m2			
	鉄筋	D10	48.0	kg			
	鉄筋	D13	40.0	kg			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	加工組立	運搬費共	88.0	kg			
	コンクリート	N27-18	3.0	m3			
	コンクリート打設費	カート打ち	3.0	m3			
	天端同時押し		5.0	m2			
	立木移植工事	既存樹木1本 場内指定位置に移植	1.0	式			
	機械運搬費		1.0	式			
	3-(1)の計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3-(2)	サイン工事						
	案内表示板	SUS製スタンドサイン W905*H1200 (参) ACE 214-853 ST-64H	1.0	基			
	運搬費	製品代*15%	1.0	式			
	設置工事費		1.0	式			
	表示耐候性塩ビシート 裏ネット加工	案内表示板 780*400	1.0	ヶ所			
		点灯盤表示部 350*430 アクリル板共	1.0	ヶ所			
	サイン原稿製作費		1.0	式			
	現場シート取付費		1.0	式			
	既存案内板撤去費	アルミ支柱 W1200*H1800(900)	1.0	基			
	【撤去材処分費】						
	積込み費	金属樹脂混合物	0.1	t			
		コンクリート屑	0.6	t			
	運搬費	金属樹脂混合物	0.1	t			
		コンクリート屑	0.6	t			
	処分費	金属樹脂混合物	0.1	t			
		コンクリート屑	0.6	t			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	3-(2)の計						
3-(3)	地盤整備工事	テニスコート西分電盤足元の整地					
	葦取り	H200	2.0	m2			
	残土処分	敷地内敷き均し	0.4	m3			
	碎石敷	t 100	0.2	m3			
	重機	上屋工事転用					
	3-(3)の計						

位置図
令和7年度 公園施設長寿命化対策支援事業
豊科南部総合公園キュービクル・テニスコート照明更新工事



現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）
令和7年度 公園施設長寿命化対策支援事業
豊科南部総合公園キュービクル・テニスコート照明更新工事
2. 工事場所： 安曇野市 豊科南部総合公園
3. 工事概要：
 - ・キュービクルの更新
 - ・キュービクルの更新に係るケーブル等の更新
 - ・テニスコートの照明更新（上部灯具のみ）、塗装
 - ・照明制御設備の更新 等

4. 工期 契約日 から 令和8年3月17日まで

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共

用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

(5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。

(6) 感染症対策は十分に講じること。

(7) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(8) 残土関係

~~・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

~~・建設発生土~~

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

~~距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。~~

~~(9) この工事は執務並行型の工事である。~~

(10) 本工事は、「週休2日工事実施要領」発注者指定型週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

(工事発注時は4週8休(通期)を想定した設計単価で積算している)

(11) テニスコート部分の現場着手は、原則として令和8年1月以降とし、詳細な工程及び工事時間については監督員と調整をすること。

(12) 公園利用者の移動動線を考慮し、安全確保に十分留意すること。

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予想することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するように努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コ

ンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・ 工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・ 工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・ 工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。
 - イ. 完成写真を公表すること。
 - ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和7年2月12日適用版

令和7年度 公園施設長寿命化対策支援事業
豊科南部総合公園キュービクル・テニスコート照明更新工事

子圖冊十冊 冊長六寸 4002

© 2006 The Authors
Journal compilation © 2006 Blackwell Publishing Ltd

3 工 事 種 目 (○印のついたものを適用する。)

4 圖 面 目 録

II 工事仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準

- 安曇野市建築工事の手引き）（以下、「手引き」という。）安曇野市規格財政部監修

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- | 項目 | 特記事項 |
|----|------|
|----|------|

④ 電気保安技術者 電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、

- ⑦ 使用材料発注先調書 使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。

- (4) 再利用又は再資源化を図るもの

- 備品 ()

- 本工事で設置する。

- ⑫ 工事用電力・水・その他 本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び盲公署その他の関係機関への諸手続等に
要する費用は請負者が負担する。

- | | |
|---------|--------------------------------------|
| ⑮ 再使用機器 | 取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 |
|---------|--------------------------------------|

- 政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震補強計算書を監理員に提出し、承認を受けるものとなる。

- なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。

-

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

图面名称

工事名称	令和7年度	図面名称	SCALE	DATE	担当	NO
------	-------	------	-------	------	----	----

ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)

- | | | |
|--------|-----------------------|-----------------------------|
| ハンドホール | 1. 500×1. 500×1. 500D | 底部 G _L -1. 740以上 |
|--------|-----------------------|-----------------------------|

4 接 地 極

- | | | |
|------|------------------------------------|---|
| A種接地 | 鋼板 1.5 t×900×900
以下端子付 鋼製埋置中心深さ | 補助接地棒 (連結式 10φ×1,500)
2m 埋設棒 (黄銅製又はステンレス製) |
|------|------------------------------------|---|

5 機器取付高

1. 発生材処理に先立ち計画書を提出し、竣工時に「発生材処理報告書」

3. テニスコートの照度測定をメーカーにて実施し、監理者に報告すること。

SCALE	DATE	担当			NO
-------	------	----	--	--	----

	2024, 12				E-
--	----------	--	--	--	----

案内図



工事場所:安曇野市豊科南部総合公園

工事内容（設計図参照）

- 1 受変電設備改修工事
- 1) 高圧引込設備更新工事

・撤去材処分共

・引込電線管塗装改修 ※塗装仕様はテニスコート塗装改修仕様にする。
- 2) キュービクル更新工事

・撤去材処分共

・公園照明盤塗装改修 ※塗装仕様はテニスコート塗装改修仕様にする。
- 3) ネットフェンス更新工事

・既存フェンス撤去処分の上 場周柵新設

場周柵：(参)朝日パブリックフェンス 空港施設 場周柵 H=1850+450 ワイヤメッシュ張
- 2 テニスコート照明設備 更新工事
- 1) テニスコート照明器具及び照明点灯盤更新工事

・既存器具撤去材処分共

・更新器具

コート照明器具

殺虫灯

LED照明器具 案内板上屋

照明点灯盤

： 80台

： 12台

： 1台（建築工事）

： 1面
- 2) 通路予告回転灯変更工事

・既存器具撤去材処分(10台) プルボックス共

・更新器具 LED 投光器（取付金物共）

： 10台
- 3) 照明ポール及び照明盤 塗装工事

・既存照明ポール、照明盤 塗装改修

下地処理(鉄部)：RB種 3種 ケレンB

仕上：耐候性塗料DP 1 級塗り
- 3 その他工事
- 1) 案内板 更新工事

・既存案内板：w200xh1800(900)撤去処分

・新規案内板：(参)杉田ACE スタンドサイン ST-64H w905xh1200

※文字サイン表示 耐候性カッティングシート貼
- 2) 上屋及び土間新設工事

・照明点灯盤及び案内板設置部

上屋 (参)三協アルミ ブレラウェイS 積雪地域型 アルミ屋根 w1660xL2400xh2100

基礎、土間 コンクリート：FC27(冬期仕様)

鉄筋：設計図参照

型枠：コンパネt12 面木

仕上：コンクリート同時コシ押エ
- 3) 電線管埋設舗装改修工事

・通路部：アスファルト カッター入の上、解体撤去 工事後復旧

※配管根切 埋戻しは電気設備工事
- 4) 盤部土間 地盤面整地工事

・照明盤設置部 地盤す取り 1000x1000x200 残土場内処分

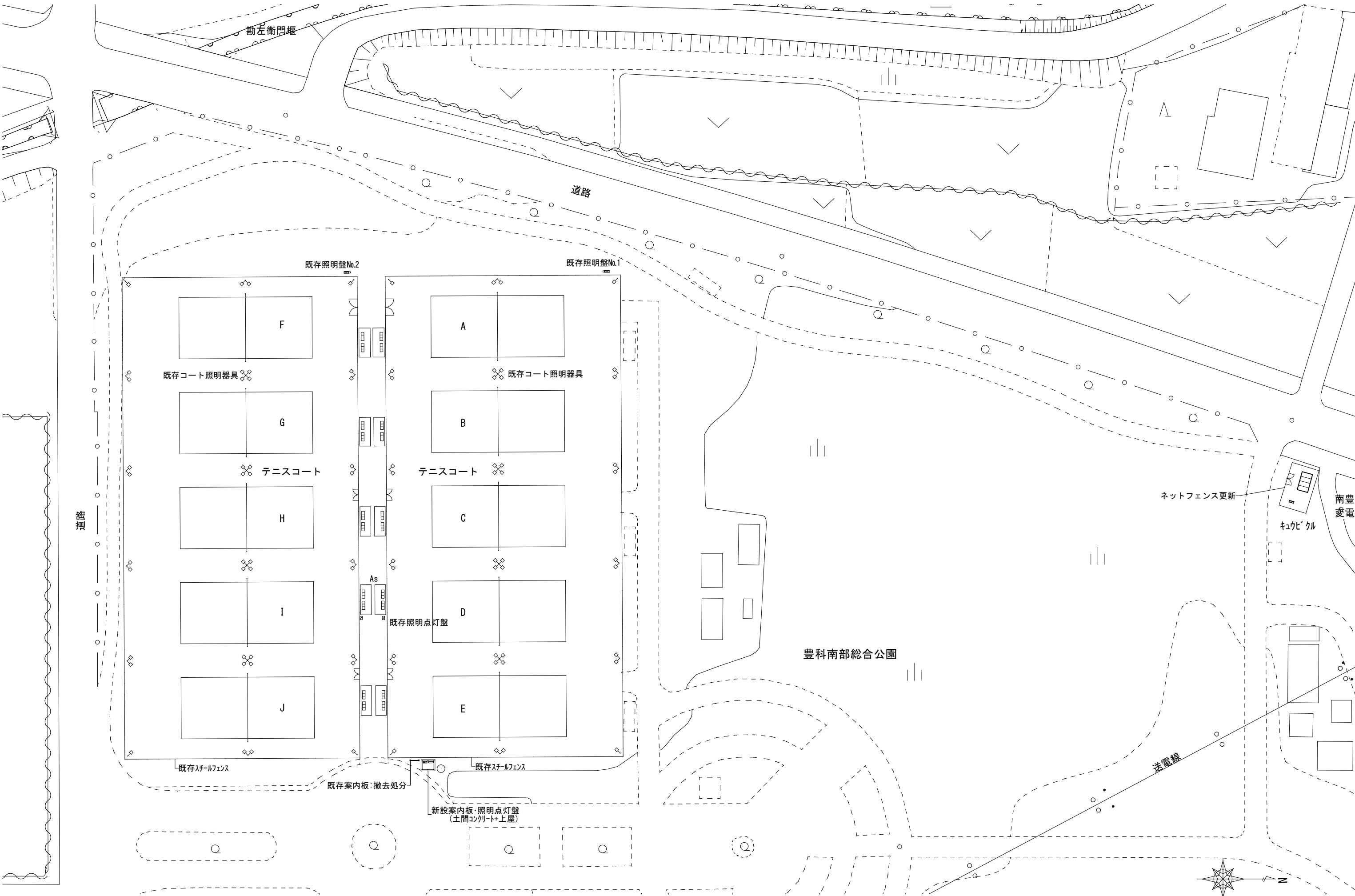
砕石t100転圧
- 5) 仮設工事

・高所作業車 高圧引込 1台/日 テニスコート照明更新、塗装改修 30台/日 想定

・コートネットフェンス 一部取り外し工事後復旧 w=2.0m x2ヶ所

・テニスコート床養生 ※高所作業車用養生は不要とするが冬期工事となるので十分配慮の事

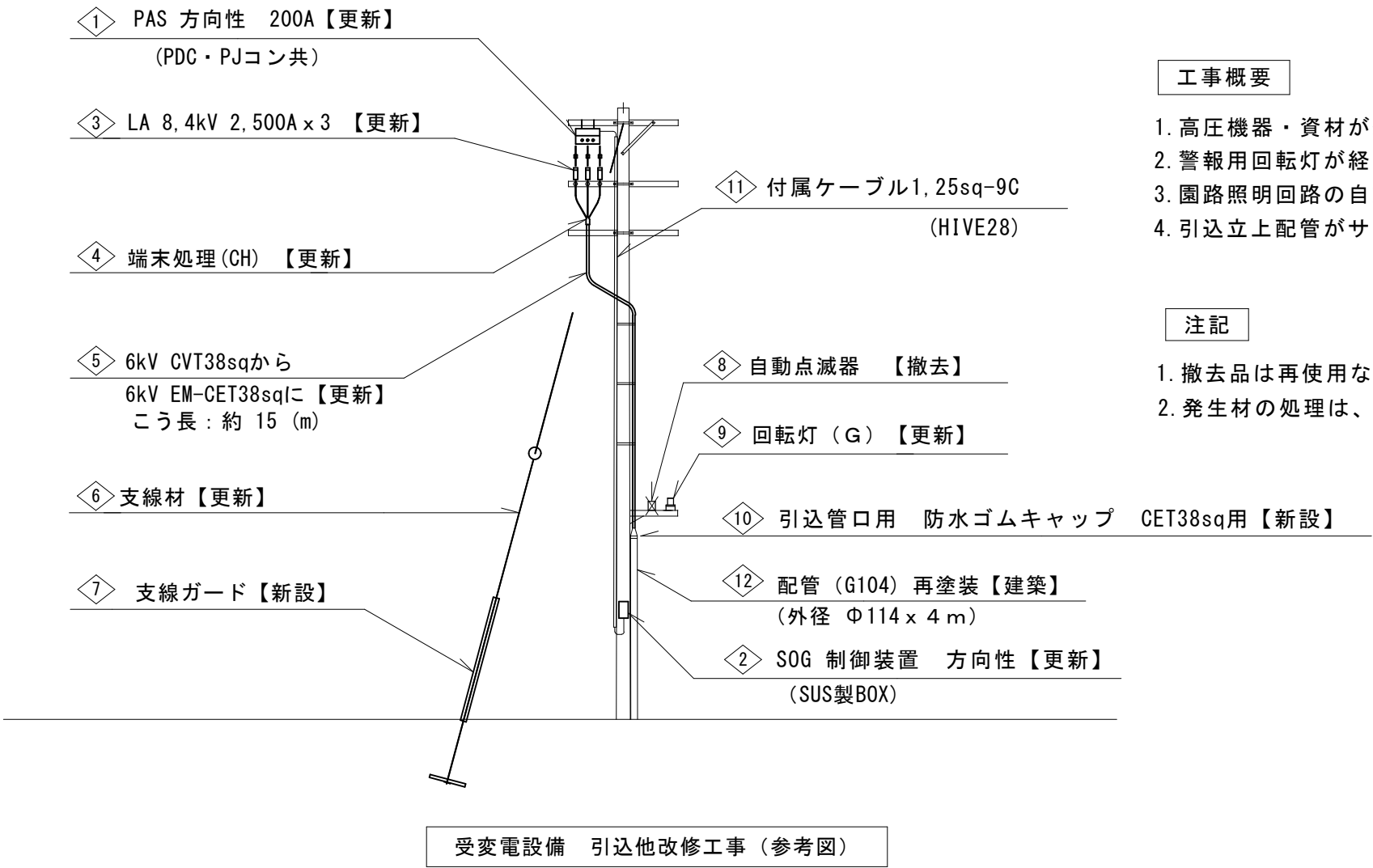
※塗装工事の際には塗料落下対応をする事



改修項目

○ 印を適用

番号	名 称	数量	更新	新設	撤去	工事理由
①	PAS（方向性） 7.2kV 200A 方向性、SUS製 モールドコーン形	1（組）	○	—	—	経年劣化
②	SOG 制御装置 無方向から方向性、SUS製BOX	1（組）	○	—	—	〃
③	LA 8,4kV 2,500A x 3 個	3（組）	○	—	—	〃
④	端末処理（CH）	1（組）	○	—	—	〃
⑤	6kV CVT38sqから 6kV EM-CET38sq	15（m）	○	—	—	〃
⑥	支線材	1（組）	○	—	—	〃
⑦	支線ガード	1（個）	—	○	—	既設にないので
⑧	自動点滅器	1（個）	—	—	○	未使用
⑨	赤色回転灯（G）、LEDランプ、取付金物	1（台）	○	—	—	経年劣化
⑩	引込管口用 防水ゴムキャップ CET38sq用	1（個）	—	○	—	既設にないので
⑪	付属ケーブル1,25sq-9C（HIVE28）	8（m）	○	—	—	経年劣化
⑫	配管（G104）再塗装 （外径 Φ114 x 4 m）	1（式）	—	—	—	サビ発生 （建築工事）

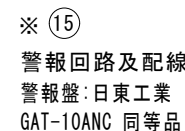
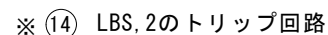


工事概要

- 高圧機器・資材が経年劣化しているので更新
- 警報用回転灯が経年劣化しているので更新
- 園路照明回路の自動点滅器が不使用のため撤去（要調査）
- 引込立上配管がサビているので塗装（建築工事）

注記

- 撤去品は再使用なしとする。
- 発生材の処理は、特記仕様書（E-01）参照のこと。



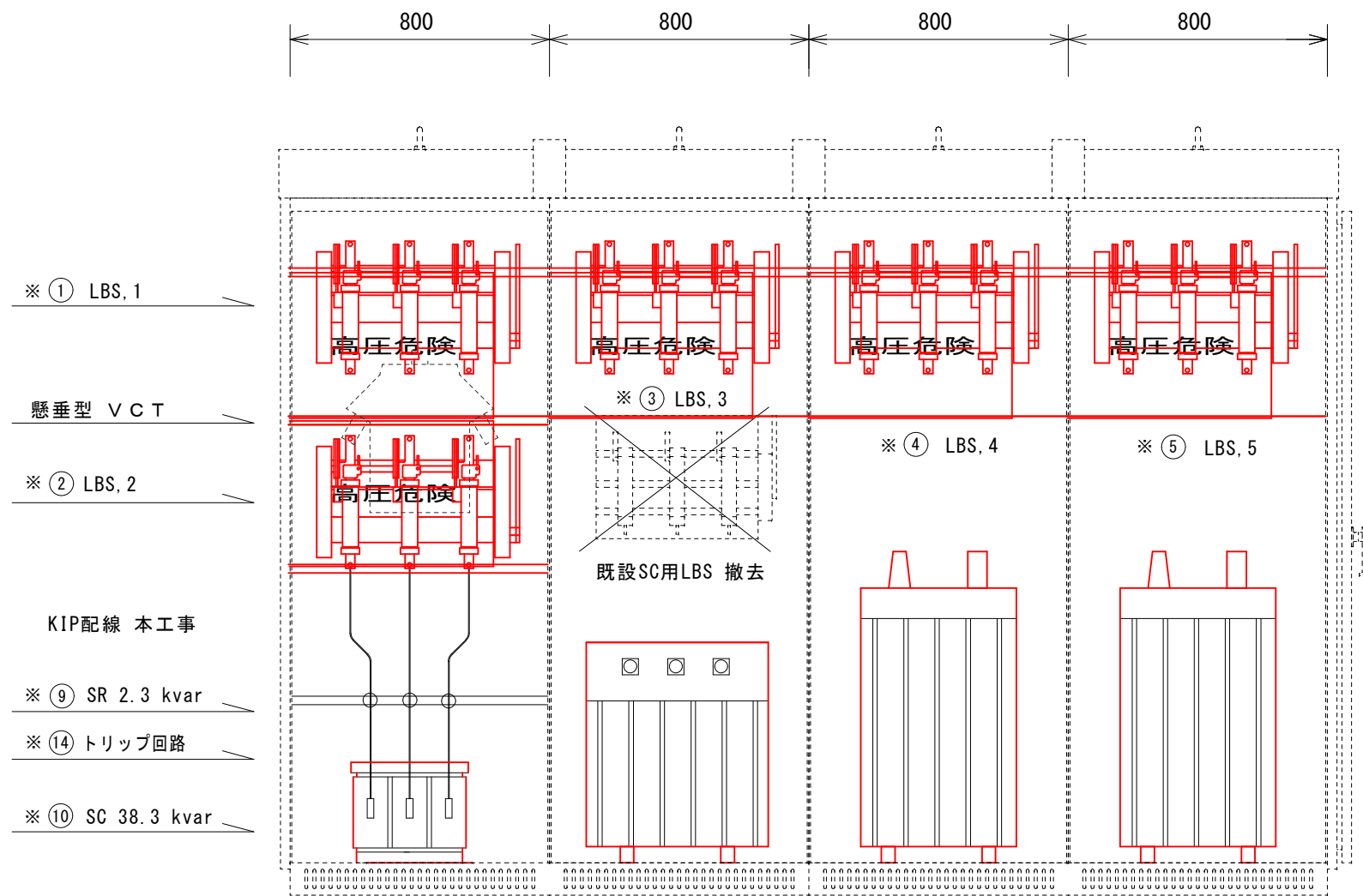
番号	負 荷 名 称	MCB 3 P	負荷容量	幹線サイズ
L 1	催事用盤 1	225/200		CVT 100
L 2	催事用盤 2	225/200		CVT 100
L 3	ヨ ビ	100/100		
L 4	照明盤	100/100		
L 5	———	2P 50/20		CV 5, 5-2C
L 6	A O G 電源	2P 50/20		CV 5, 5-2C
L 7	所内電源	2P 50/20		

番号	負 荷 名 称	ＭＣＢ ３Ｐ	負荷容量	幹線サイズ
Ｐ１	テニスコート盤 NO.2	225/200		CVT 200
Ｐ２	テニスコート盤 NO.1	225/200		CVT 200
Ｐ３	ヨ ビ	50/50		――

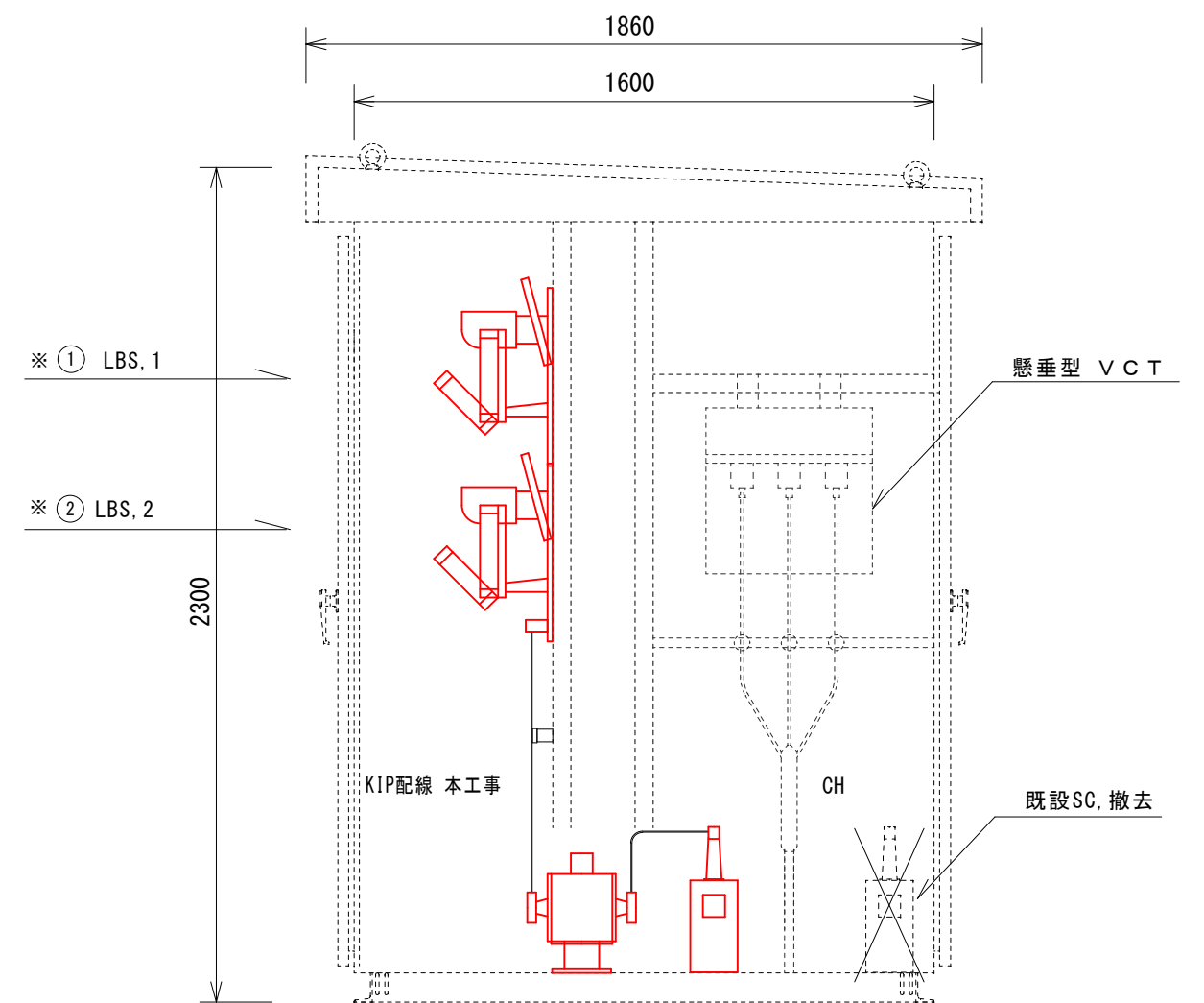
番号	負 荷 名 称	ＭＣＢ ３Ｐ	負荷容量	幹線サイズ
Ｐ１	噴水盤	100/100		CVT 60
Ｐ２	散水盤	50/50		CV 38-3C
Ｐ３	ヨ ビ	50/50		――
Ｐ４	ヨ ビ	50/50		――

特記（キュービクル）

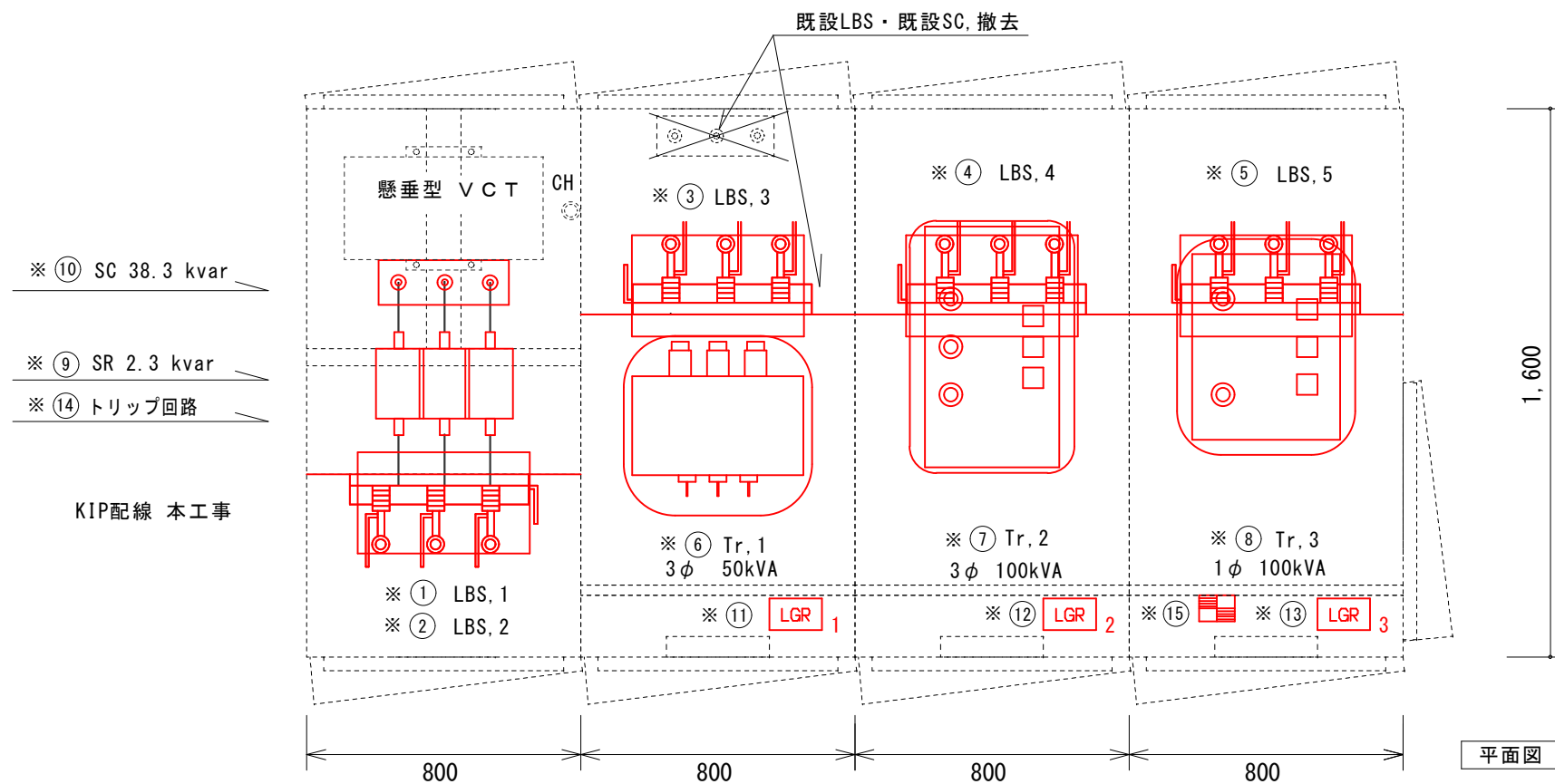
- ・主要機器と警報回路のみ更新とする。ただし改修に必要な配線は、本工事とする。
- ・発生材の処理は、特記仕様書（E-01）に依ること。
- ・キュービクル内の清掃・機器のから拭き掃除後引渡しとする。



背面内部



受電盤 側面図



平面図

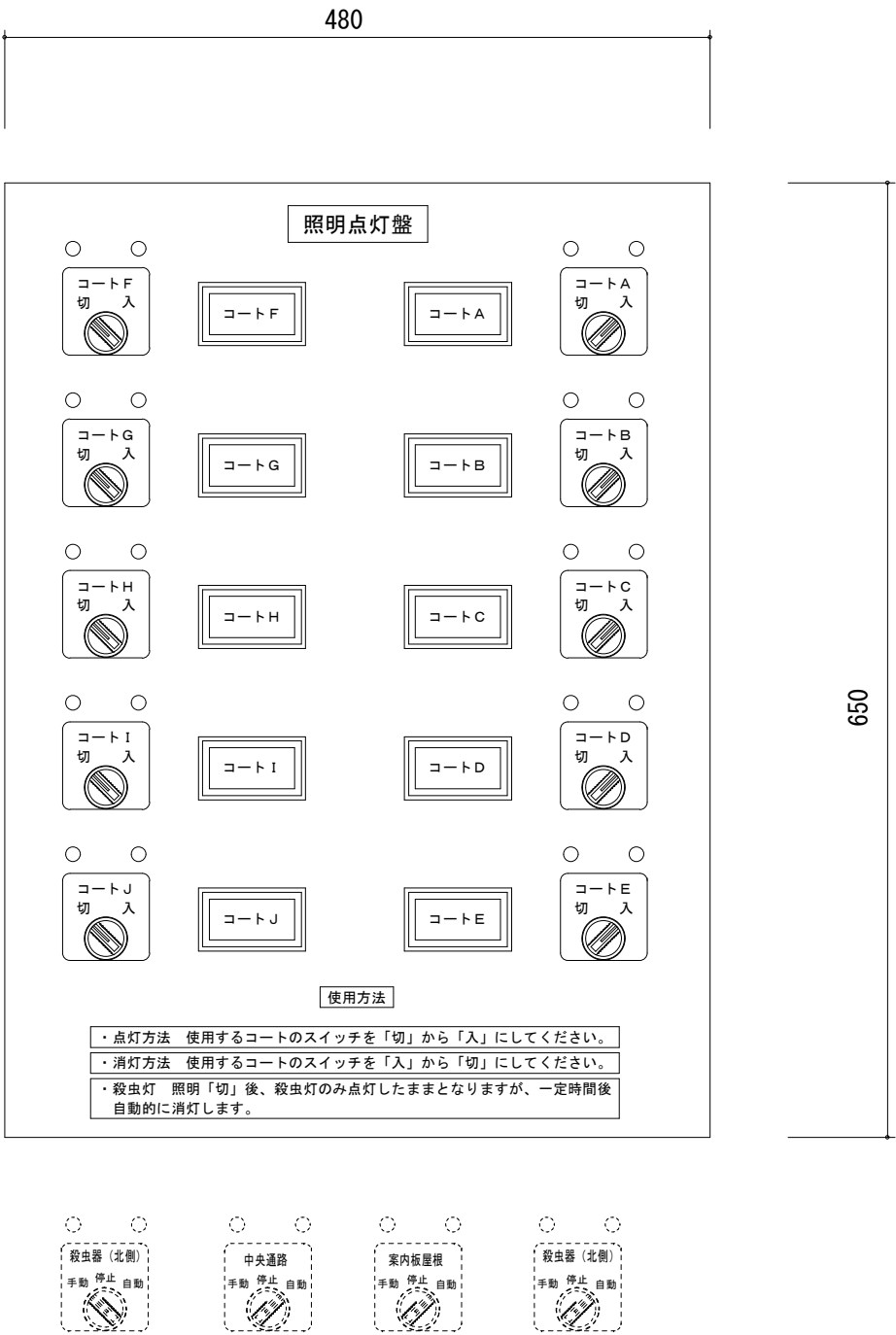
キュービクル改修項目 ・数量は各1台とする。

番号	機器	規 格	工事種別
※ ①	LBS, 1	7.2kV 200A PF40kA G50A (バリア付)	更新
※ ②	LBS, 2	7.2kV 200A PF40kA G10A (TC、補助接点付)	更新
※ ③	LBS, 3	7.2kV 200A PF40kA G20A	更新
※ ④	LBS, 4	7.2kV 200A PF40kA G30A	更新
※ ⑤	LBS, 5	7.2kV 200A PF40kA G40A	更新
※ ⑥	Tr, 1	6600/210V 3φ 50kVA	更新
※ ⑦	Tr, 2	6600/210V 3φ 100kVA	更新
※ ⑧	Tr, 3	6600/210-105V 1φ 100kVA	更新
※ ⑨	SR, 1(L=6%用)	6.6kV 2.3 kvar モード、(警報接点付)	新設
※ ⑩	SC, 1(L=6%用)	7020V 3φ 38.3kvar 放電抵抗内蔵、保護接点付	更新
※ ⑪	LGR, 1	漏電火災警報器 露出形	新設
※ ⑫	LGR, 2	"	新設
※ ⑬	LGR, 3	"	新設
※ ⑭	トリップ回路	LBS, 2のトリップ回路、配線共	新設
※ ⑮	警報回路及配線	警報盤を盤面に取付 警報盤:日東工業 GAT-10ANC 同等品	新設

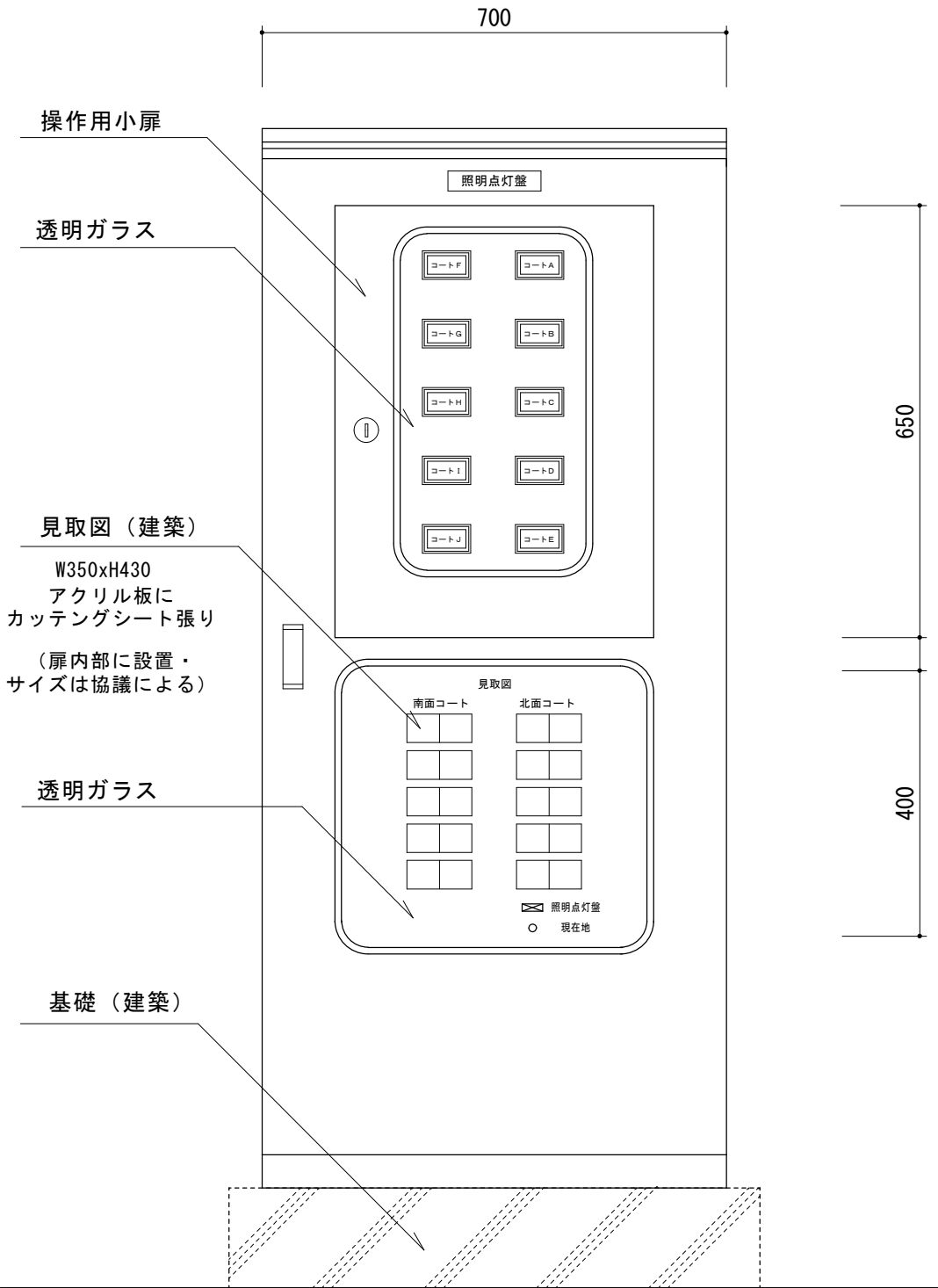
工事概要

- ・主要機器と警報回路のみ更新。ただし改修に必要な配線は、本工事とする。
- ・低圧動力盤の既設SCを撤去し、受電盤にSRとSCを設置する。(配線新設)

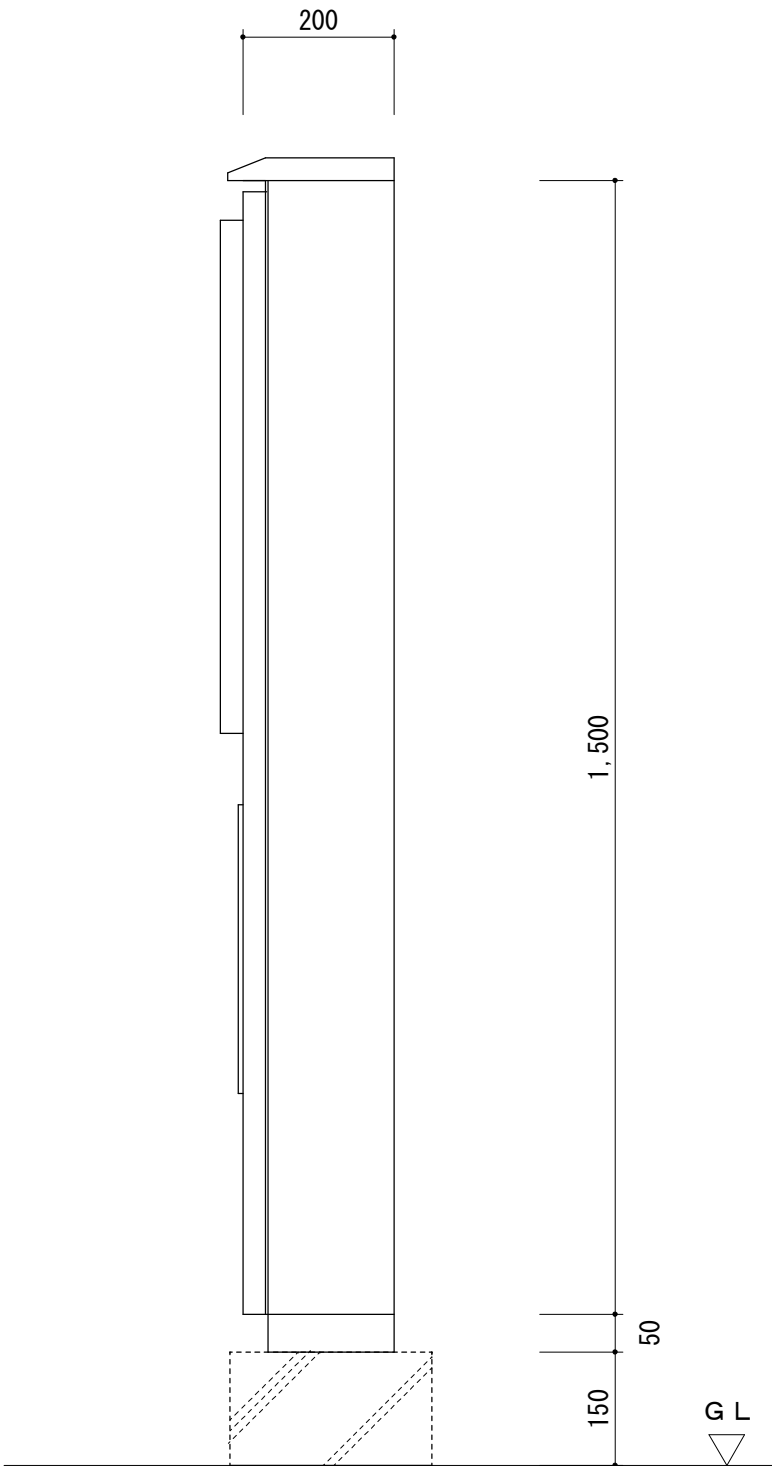
操作部分（参考）



照明点灯盤 正面図（参考）

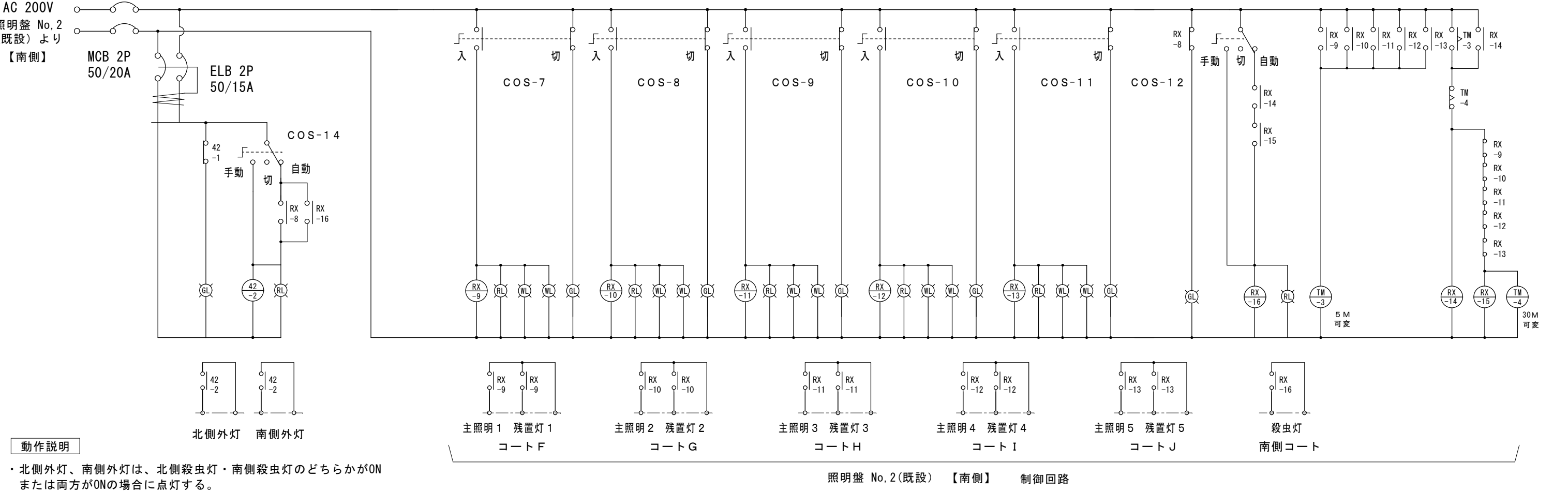
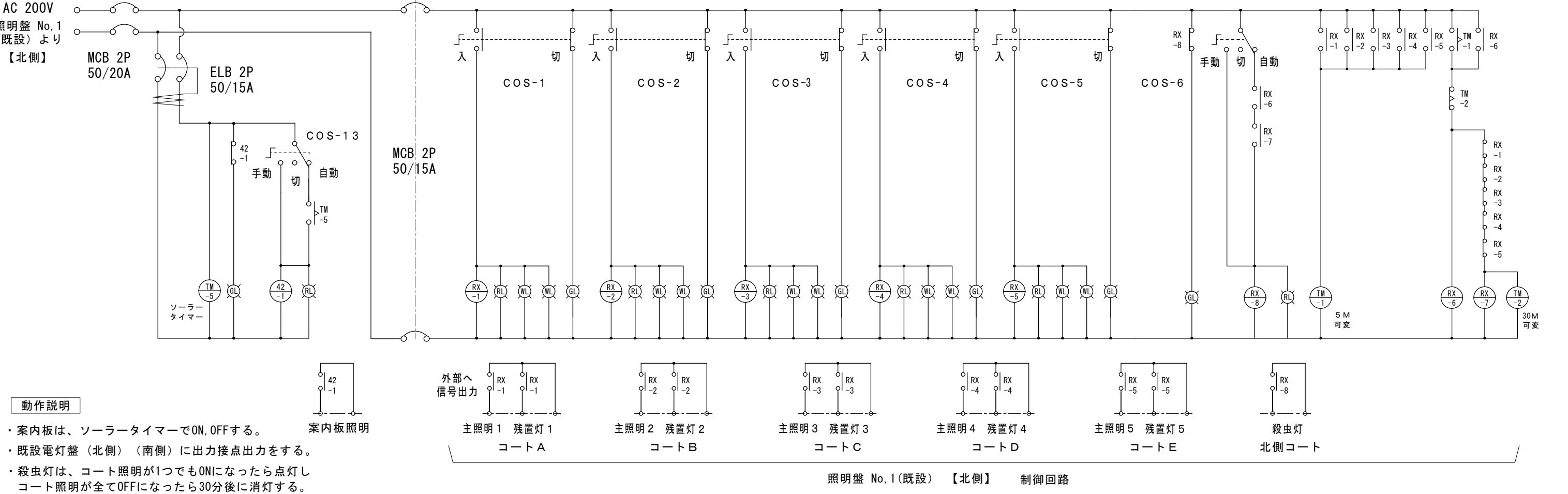


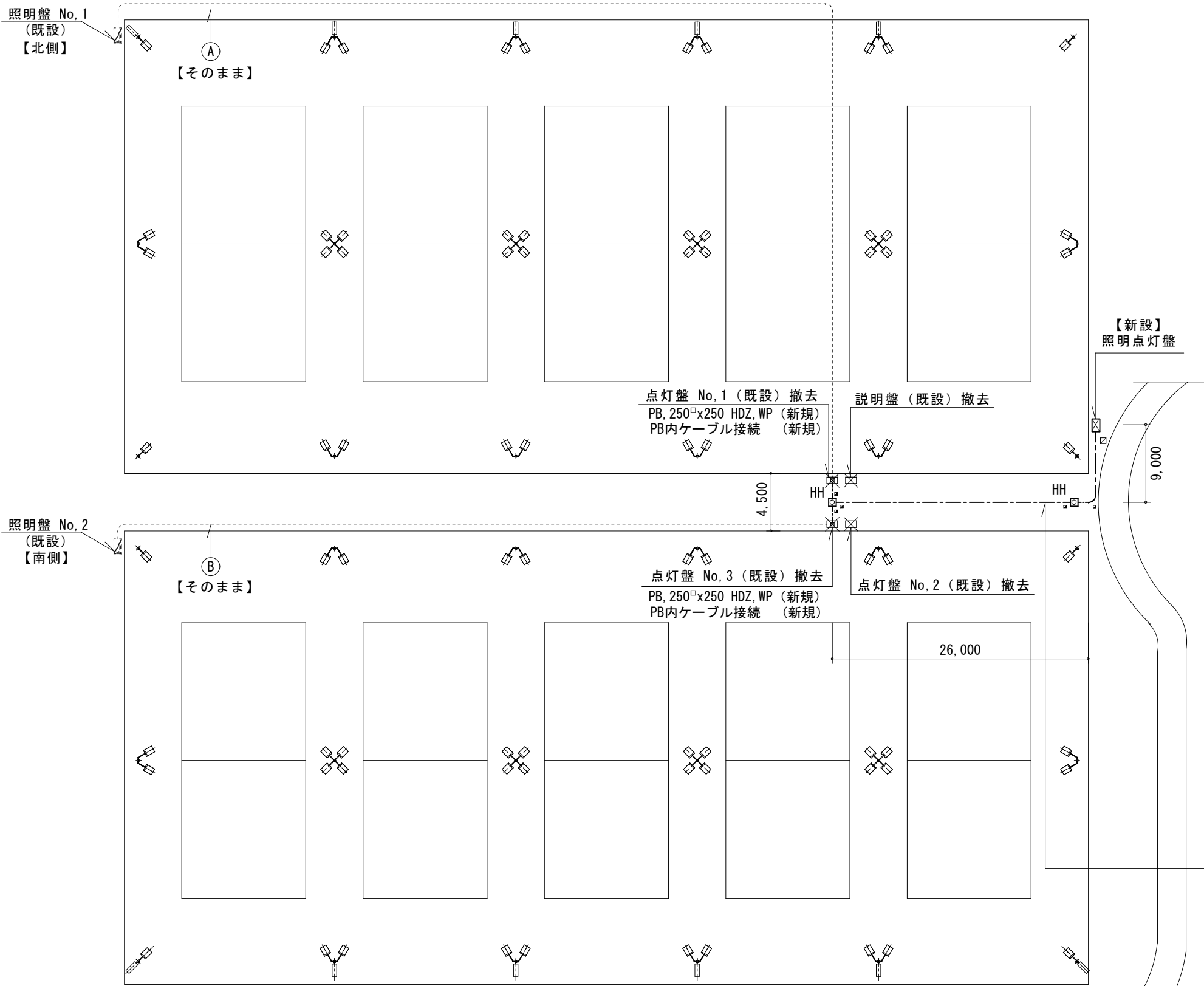
照明点灯盤 側面図（参考）



特記

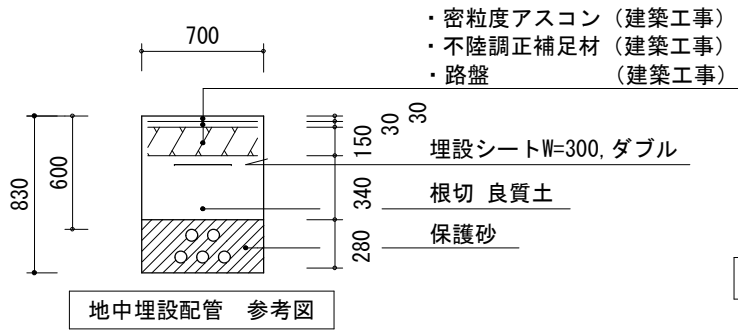
- ・丸形表示灯の参考品番は、キムデン KRE-310
- ・角形表示灯の参考品番は、キムデン KHE-27HNTB BUW+W
- ・文字はアクリル板に彫刻とする。
- ・操作盤の使用法の文面は、協議による。
- ・殺虫灯、通路、案内板のスイッチ・表示灯は誤操作を防ぐため、内部に設置とする。
- ・操作盤小扉のカギは、タキゲン TB 7000（品番は協議により決定、13個 納入とする）
- ・各寸法・構成は参考とし、納入仕様書により決定とする。
- ・屋外防水自立型・ベース付とする。



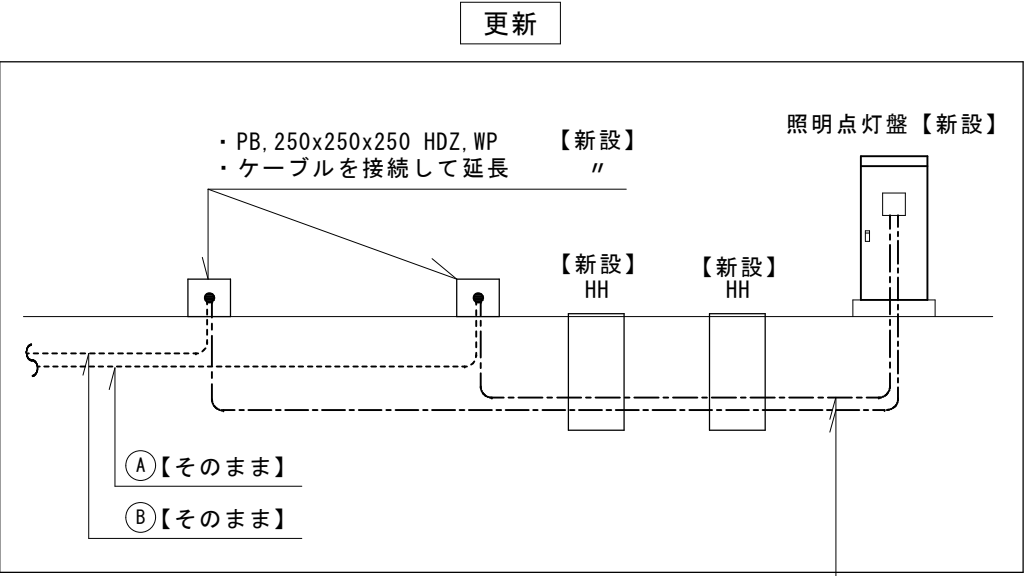
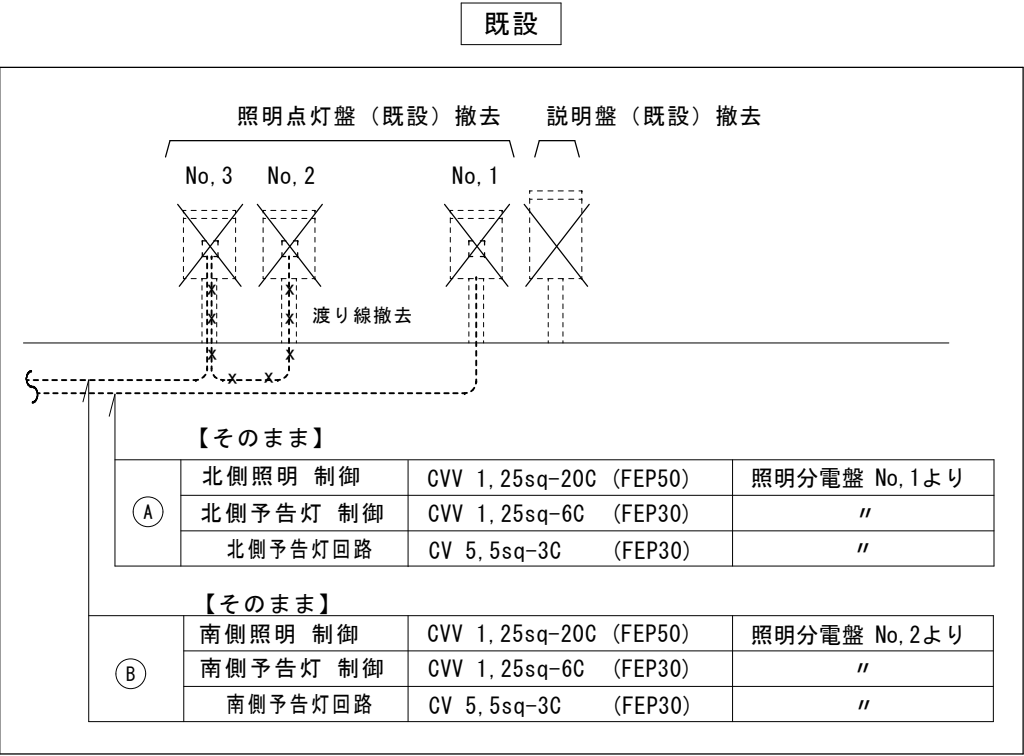


凡例

記号	名 称	数量
□	ハンドホール H1-6	2基
	蓋 R2K-60, 電気マーク入	
⊠	PB, 250□x250 HDZ, WP	2個
⊡	埋設標：コンクリート製	1ヶ所
⊢	埋設標：鉄製・ピン形	5ヶ所



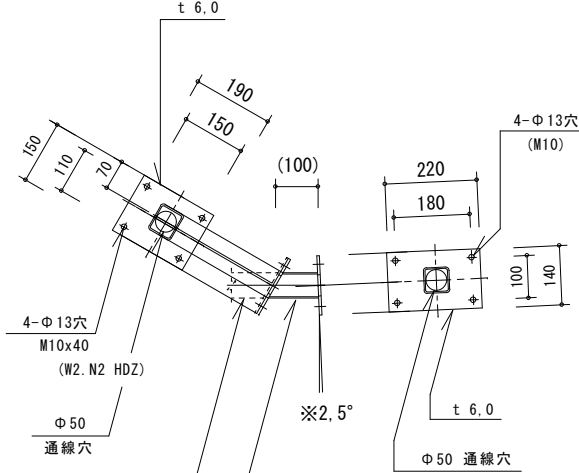
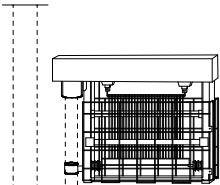
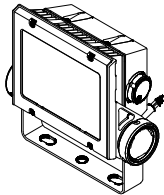
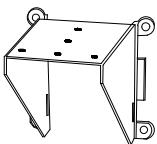
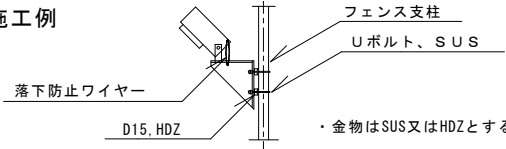
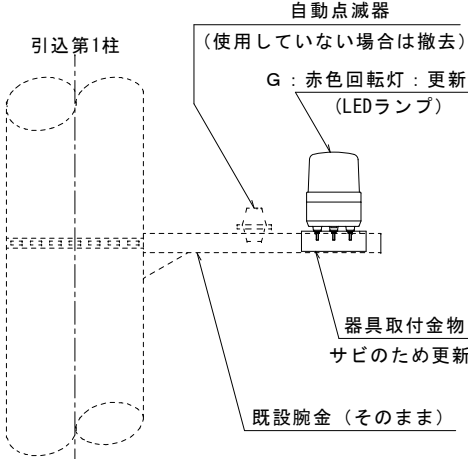
テニスコート平面図（更新） S=1：400

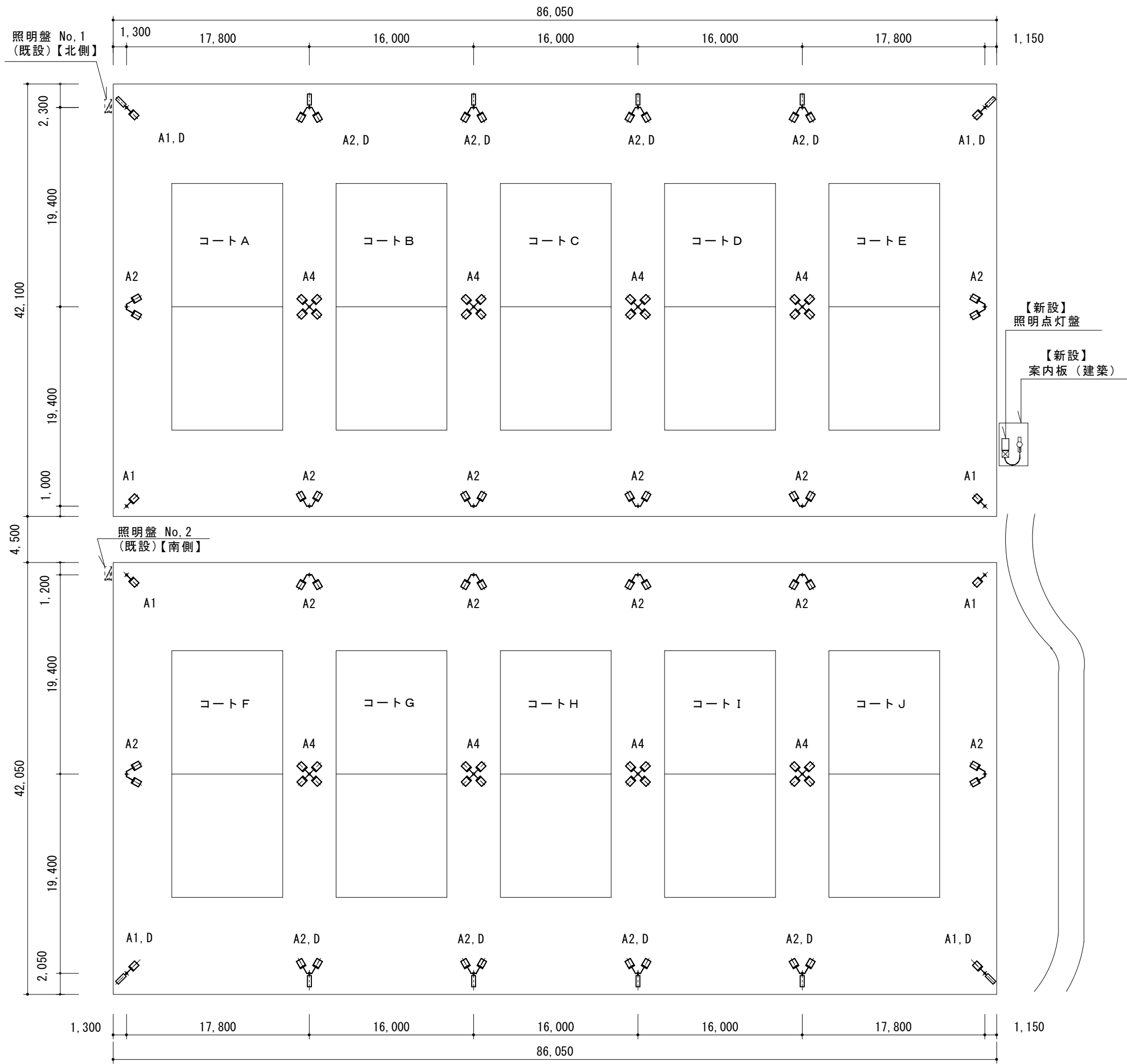


工事概要

- 「既設照明点灯盤」を撤去し、「新設点灯盤」を設置する。
- 制御線の延長工事（配管・配線・P B・H H・土工事）を行う。
- 予告灯回路の延長工事を行う。
- 予告灯回路を外灯回路に変更する配線工事を新設する。

照明器具姿図（更新）

Aテニスコート LED型照明器具 80台		A 1テニスコート照明（1灯用） 8組		A 2テニスコート照明（2灯用） 20組		A 4テニスコート照明（4灯用） 8組		アダプター（参考）：必要な場合は設置	
岩崎電気（株） ※同等品とする アーム 既設使用 再塗装（建築工事） ポール 既設使用 再塗装（建築工事） 照明器具 更新 耐雷サージ：15kV（コモンモード） 定格光束：57400lm 消費電力：420W（200V）418W（242V） 光源色：5000K 演色性：Ra70 本体：アルミダイカスト（ポリエステル塗装） 取付台座：ステンレス（ポリエステル塗装） 反射鏡：アルミダイカスト（鏡面仕上げ） 仕上色：ダークグレイ 保護等級：IP65 設計許容風速：60m/sec 落下防止ワイヤー同梱 参考品番：ET40001/NSAJ2		照明器具：更新 アーム 既設使用 （□80 x 650 L） 再塗装（建築工事） ポール先端 ポール 既設使用 再塗装（建築工事） □ 125 □ 175 7,100 2,370		照明器具：更新 アーム 既設使用 （□80 x 650 L） 再塗装（建築工事） ポール先端 ポール 既設使用 再塗装（建築工事） □ 125 □ 175 7,100 2,370		照明器具：更新 アーム 既設使用 （□80 x 650 L） 再塗装（建築工事） ポール先端 ポール 既設使用 再塗装（建築工事） □ 125 □ 175 7,100 2,370		 t 6.0 190 150 (100) 220 180 4-φ13穴 (M10) φ50 通線穴 ※2.5° φ50 通線穴 t 6.0 □ 60x t3.2 STKR 400 ・既設アームと照明器具を接続できるものとする。 ・照度分布が良く、グレアが少ない角度に設定すること。 ・耐風速60m/sに耐えるもの。 ・耐蝕塗装でポールと同色とする。	
Bジョイントユニット Sタイプ 80個		D電撃殺虫器 12台		ELED 投光器、広角タイプ 10台		F照明器具取付金物 10組		G赤色回転灯、LEDランプ、支持金物共 1台	
MCB 30AF/15A, 防水型 ポール内に設置 参考品番：EFMQ68-15A（岩崎電気） 取付金具共、参考品番：FEP-1（岩崎電気） 		 照明ポール（既設） 本体：ステンレス製 仕上色：グレイ（マンセル N7） 消費電力：60Hz時・63W（200V） 質量：22.0kg 参考品番：DWTS 30223（岩崎電気）		(200V)  定格光束：3200lm 消費電力：26.2W（200V） 寿命：60000時間 光源色：6500K（昼光色タイプ） 演色性：Ra70 本体色：ダークグレイ 参考品番：ECF 2040W（岩崎電気）		取付金具  材質：HDZ 参考品番：FA-54 （岩崎電気） 落下防止ワイヤー  ステンレスワイヤーφ1.6mm 参考品番：FA-32 （岩崎電気） 施工例  フェンス支柱 Uボルト、SUS 落下防止ワイヤー D15, HDZ ・金物はSUS又はHDZとする。		 自動点滅器 （使用していない場合は撤去） G：赤色回転灯：更新 （LEDランプ） 器具取付金物 サビのため更新 既設腕金（そのまま） ・回転灯用途：キュービクルの警報表示用	



凡例			
シンボル	名 称	区 分	
A1	テニスコート照明（１灯用） （ポールは既設利用、再塗装は建築工事）	更新	—
A2	テニスコート照明（２灯用） （ポールは既設利用、再塗装は建築工事）	更新	—
A4	テニスコート照明（４灯用） （ポールは既設利用、再塗装は建築工事）	更新	—
D	電撃殺虫器	更新	—
	照明器具（建築工事）、案内板屋根に設置	—	新設
	EM-EFF1, 6-3C（内1本E）HIVE(16)露出	—	新設
	ブルボックス 150 x 150 x 100 VE.WP	—	新設
	照明点灯盤（手動操作型）	—	新設

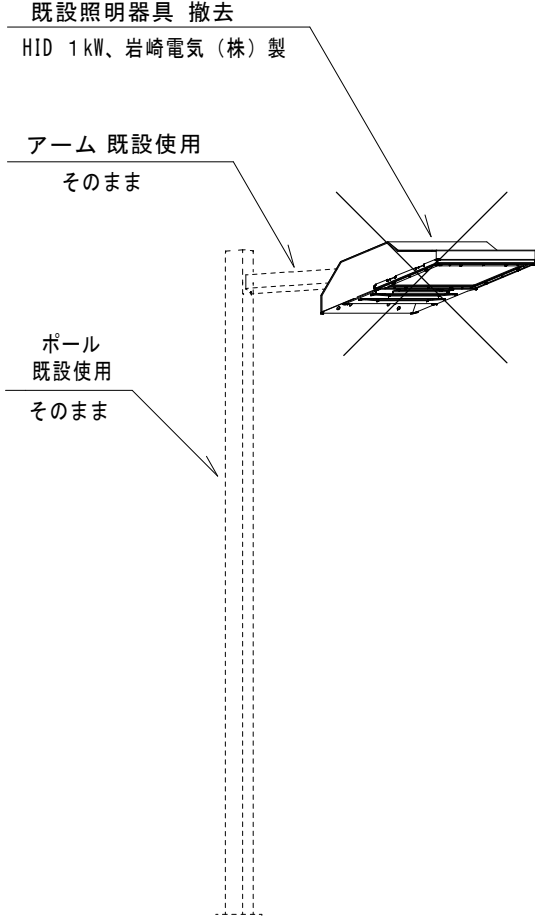
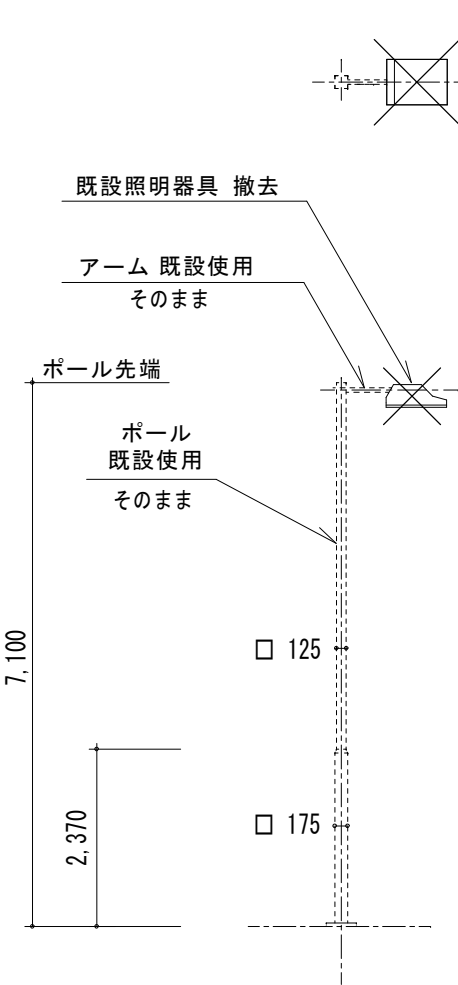
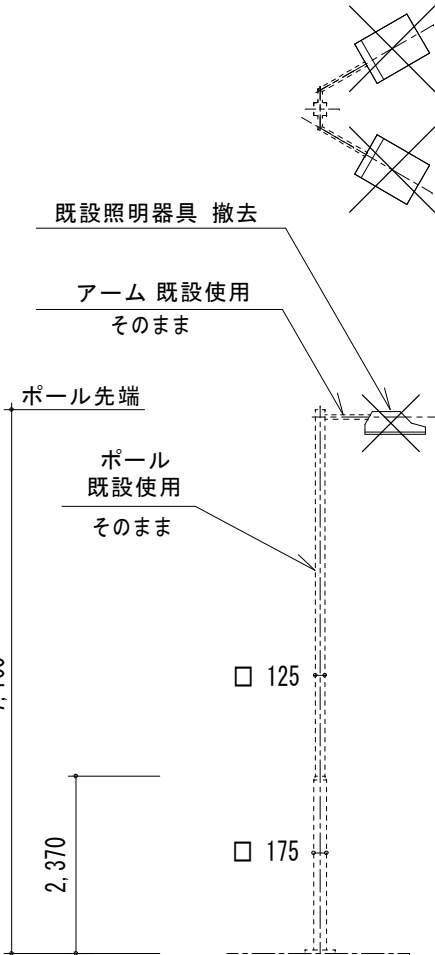
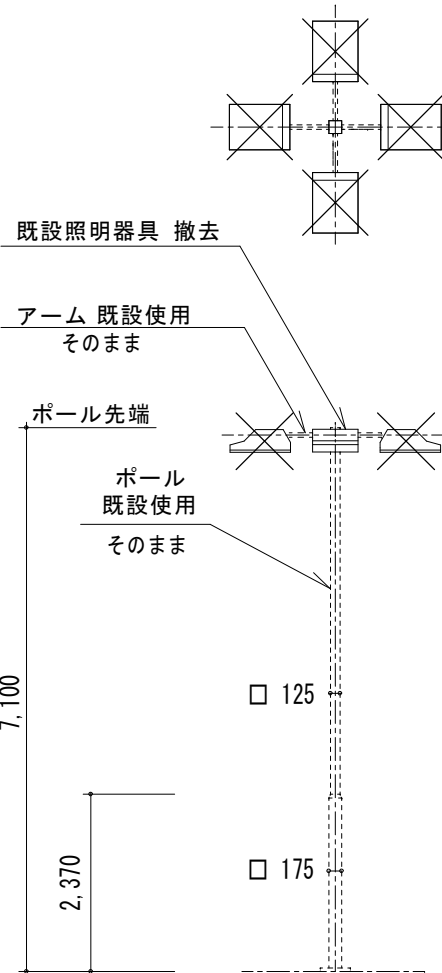
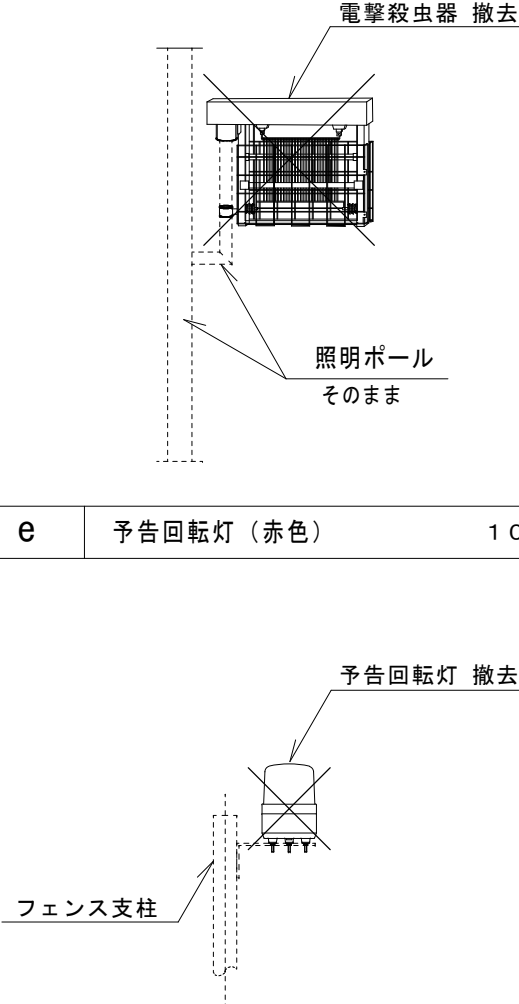
注記

- ・足場は高所作業車とする。
- ・芝生の養生方法は仮設計画による。

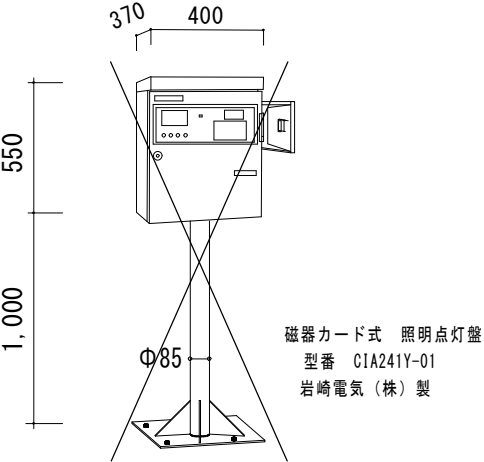
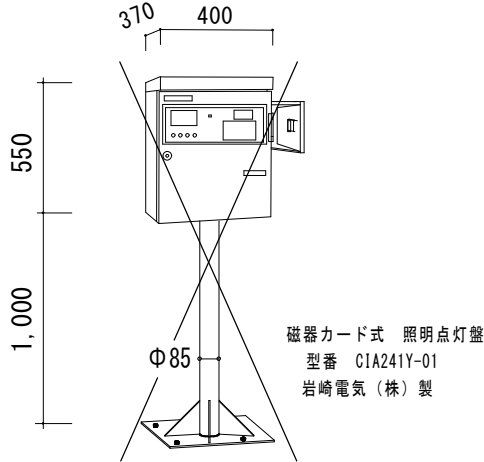
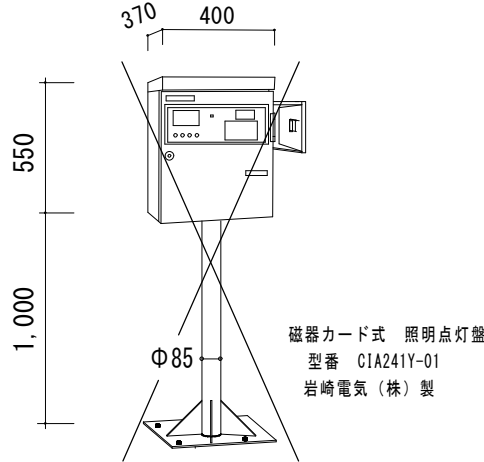
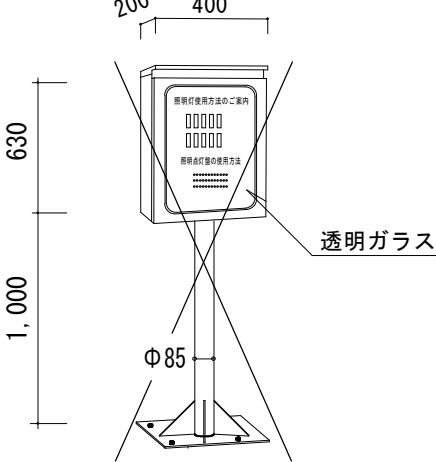
工事概要

- 1、テニスコートの照明器具をH I DからL E Dに更新
【ポールはそのまま塗装（建築工事）を行う】
- 2、ポール内の開閉器（ジョイントユニット防水型）の更新
- 3、ポール内ジョイントユニットから灯具までの配線を更新
- 4、電撃殺虫器の更新
- 5、案内板の屋根に照明器具（建築工事）の設置と配線工事を新設

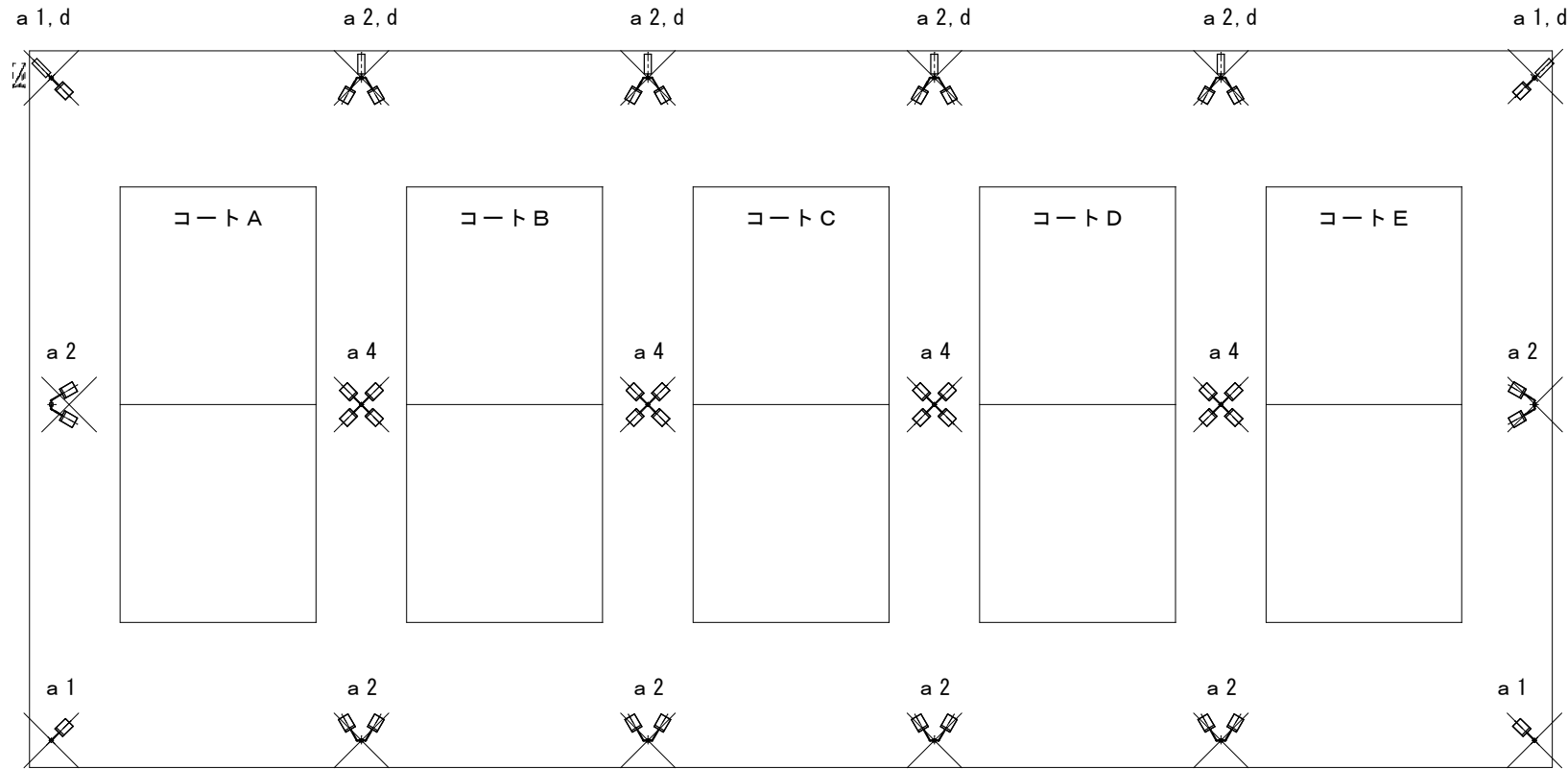
照明器具姿図（撤去）・再使用なし

テニスコート 照明器具 80台		a 1	テニスコート照明（1灯用） 8組	a 2	テニスコート照明（2灯用） 20組	a 4	テニスコート照明（4灯用） 8組	d	電撃殺虫器 12台
既設照明器具 撤去 HID 1kW、岩崎電気（株）製 アーム 既設使用 そのまま ポール 既設使用 そのまま 		既設照明器具 撤去 アーム 既設使用 そのまま ポール先端 ポール 既設使用 そのまま □ 125 □ 175 7,100 2,370 		既設照明器具 撤去 アーム 既設使用 そのまま ポール先端 ポール 既設使用 そのまま □ 125 □ 175 7,100 2,370 		既設照明器具 撤去 アーム 既設使用 そのまま ポール先端 ポール 既設使用 そのまま □ 125 □ 175 7,100 2,370 		電撃殺虫器 撤去 照明ポール そのまま e 予告回転灯（赤色） 10台 予告回転灯 撤去 フェンス支柱 	

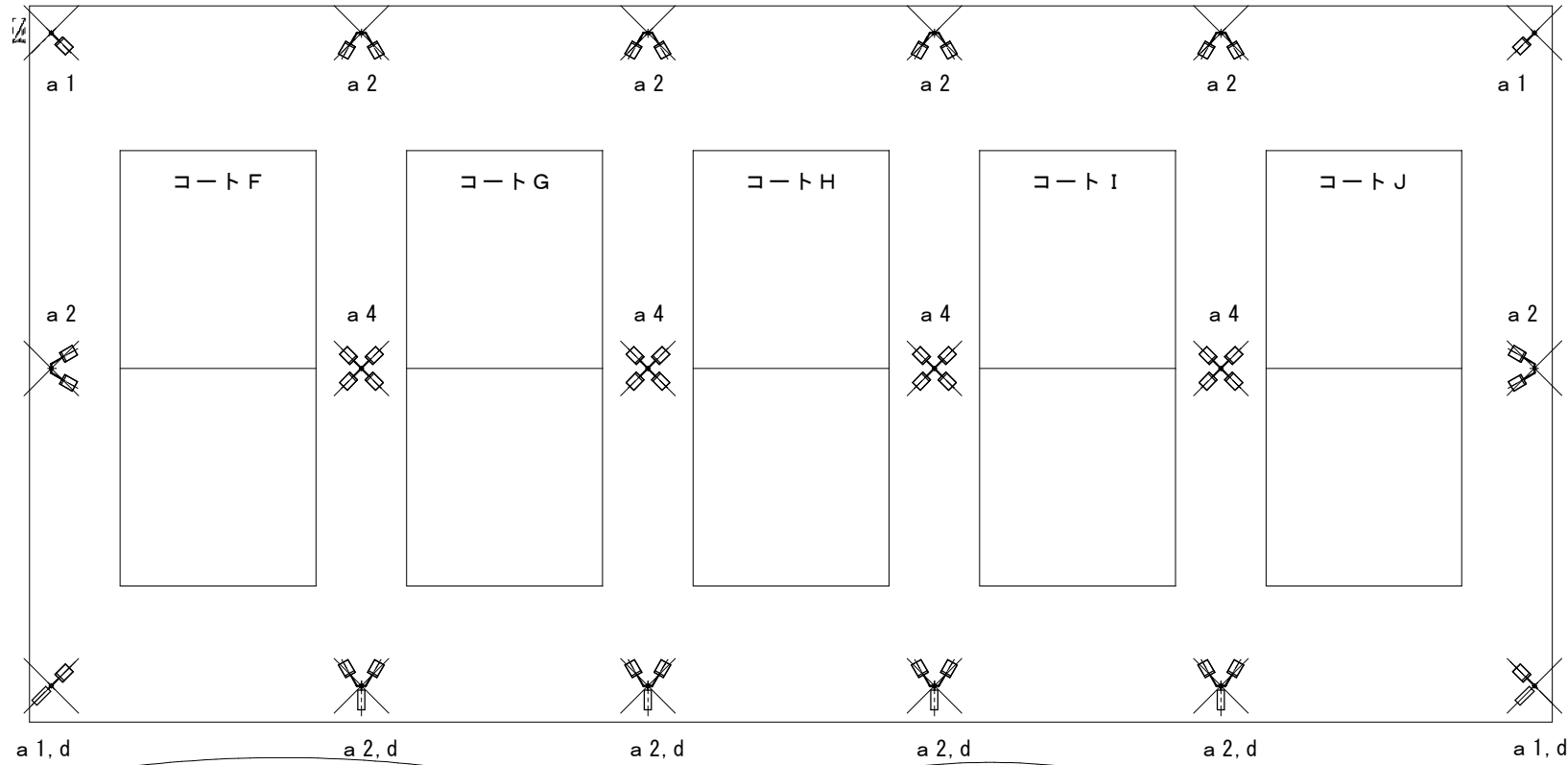
盤類（撤去）・再使用なし

点 1	照明点灯盤 No. 1（スタンド式） 1面	点 2	照明点灯盤 No. 2（スタンド式） 1面	点 3	照明点灯盤 No. 3（スタンド式） 1面	説	照明点灯盤 使用説明盤（スタンド式） 1面		
									

照明盤 No.1
(既設)
【北側】

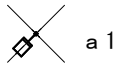
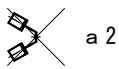
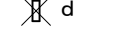


照明盤 No.2
(既設)
【南側】



テニスコート平面図（撤去） S=1:400

凡例

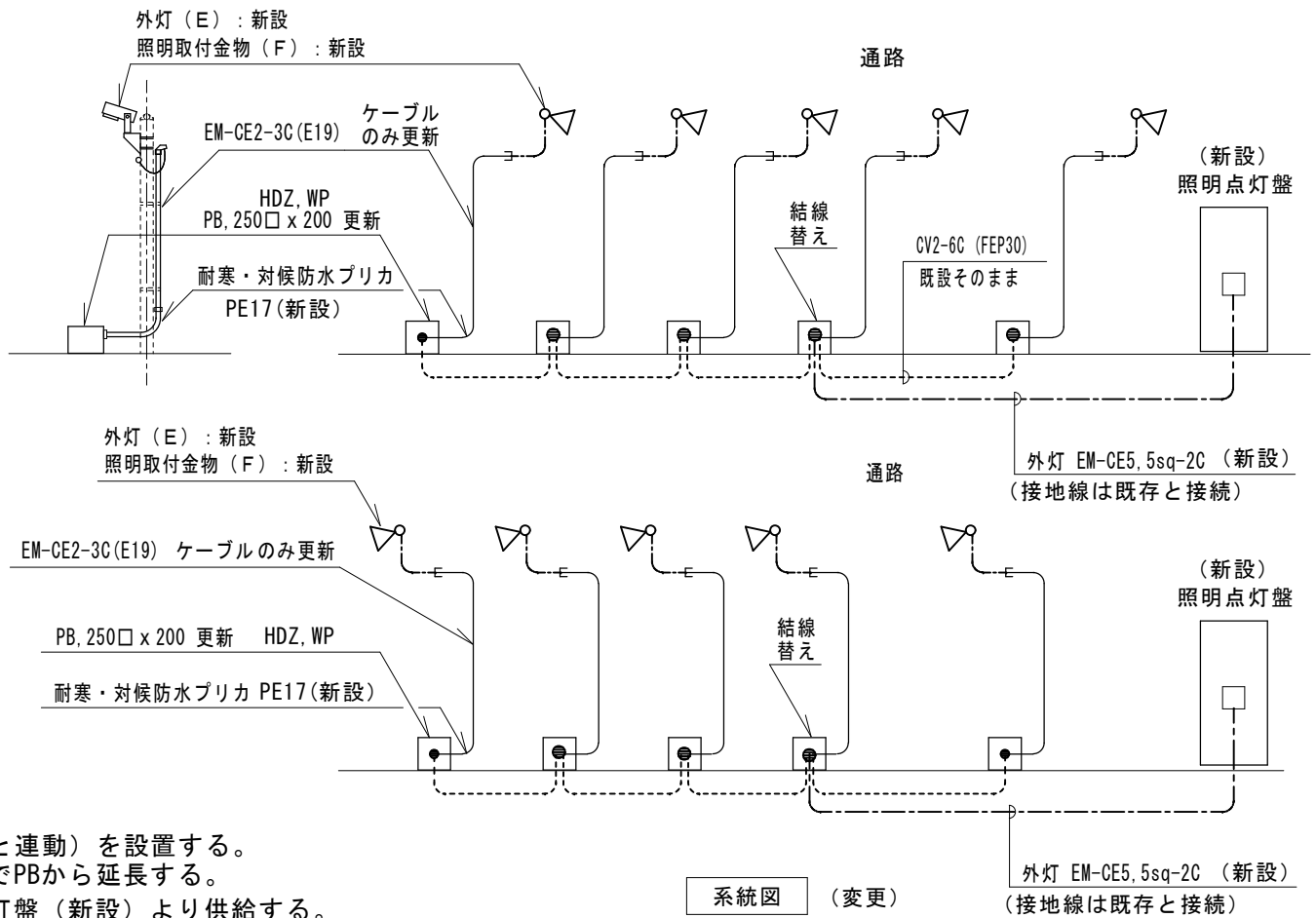
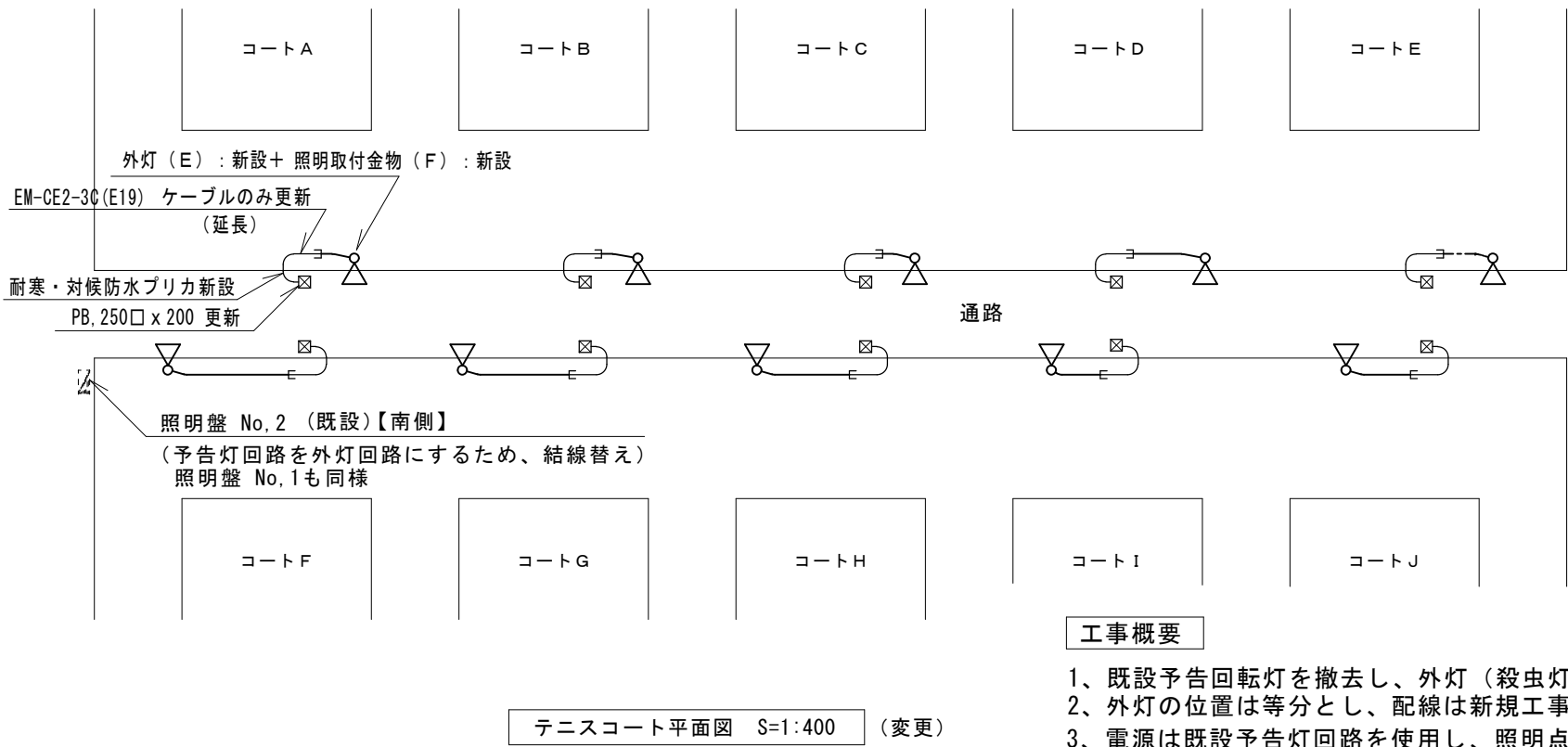
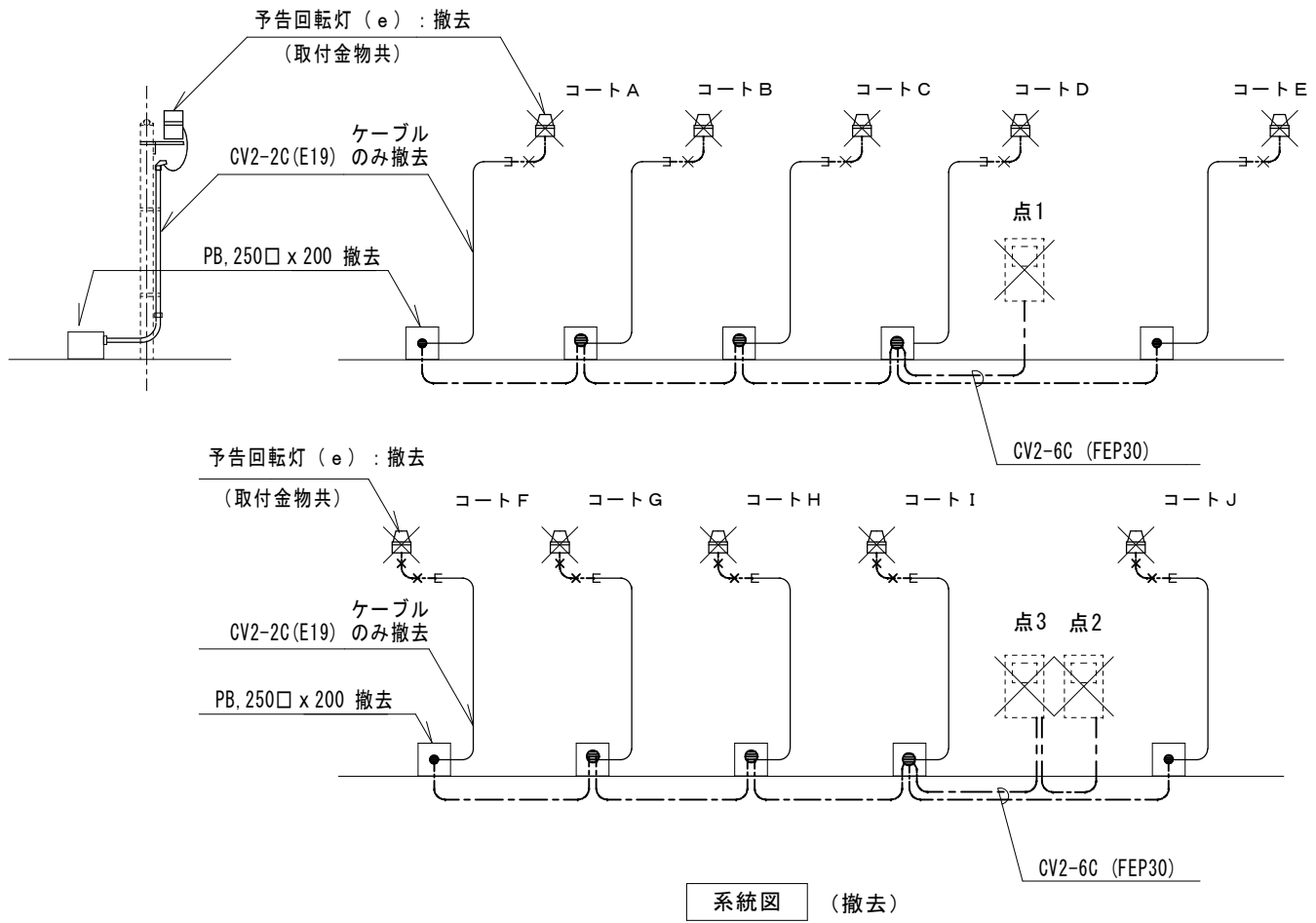
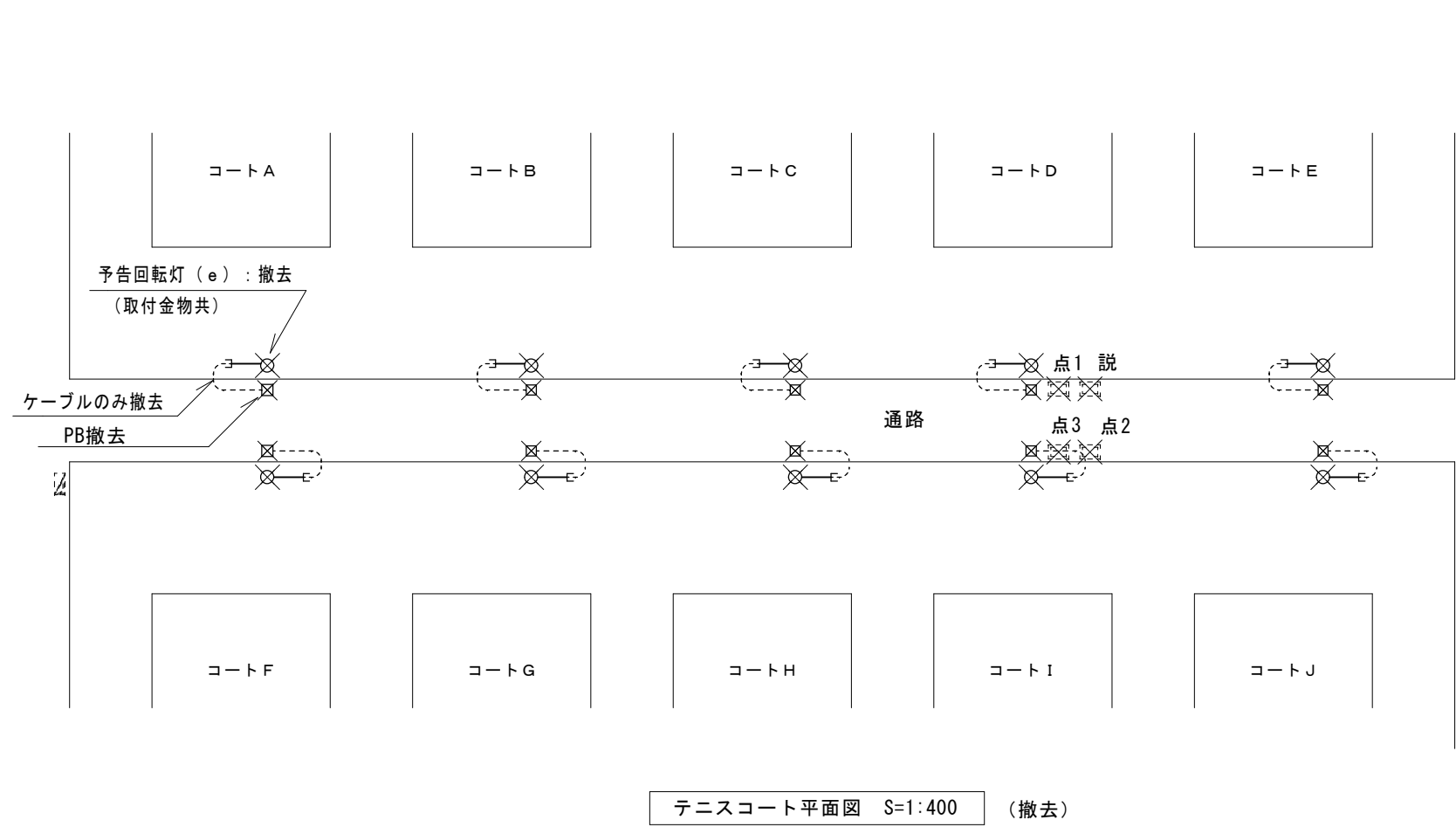
シンボル	名 称	区分
 a 1	テニスコート照明（1灯用） （ポール・アームはそのまま）	撤去
 a 2	テニスコート照明（2灯用） （ポール・アームはそのまま）	〃
 a 4	テニスコート照明（4灯用） （ポール・アームはそのまま）	〃
 d	電撃殺虫器	〃

注記

- ・撤去は再使用なしとする。
- ・足場は高所作業車とする。
- ・芝生の養生方法は仮設計画による。

工事概要

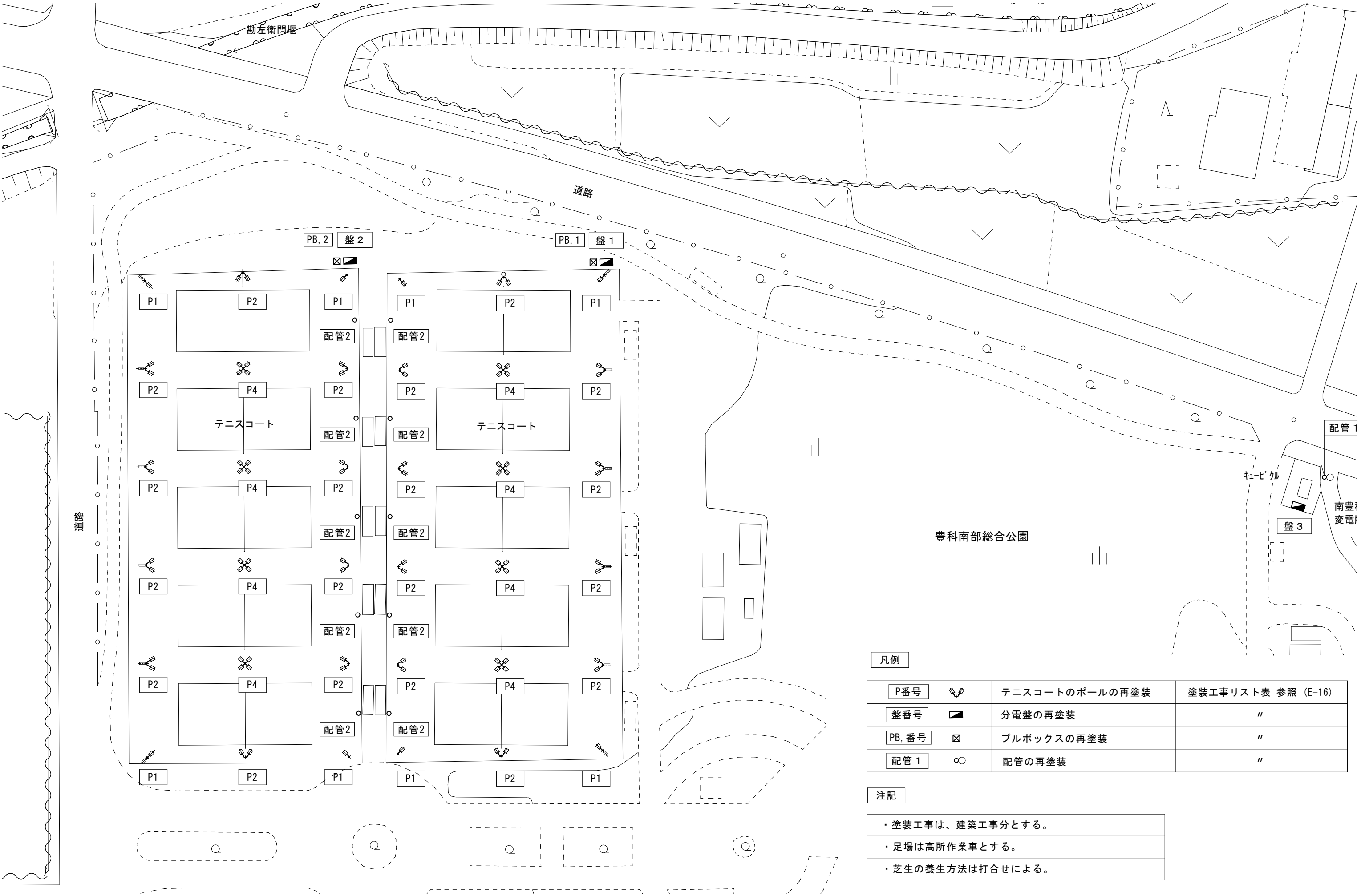
- 1、テニスコートの既存照明器具（80台）を撤去
- 2、ポール内 既設安定器・開閉器を撤去
- 3、ポール内 既設安定器～灯具までの配線を撤去
- 4、ポール・アームは既存再使用とする。
- 5、ポールは再塗装とする（建築工事）



工事概要

- 1、既設予告回転灯を撤去し、外灯（殺虫灯と連動）を設置する。
- 2、外灯の位置は等分とし、配線は新規工事でPBから延長する。
- 3、電源は既設予告灯回路を使用し、照明点灯盤（新設）より供給する。
- 4、既設電灯盤No.1・No2及び各PB内で、予告灯回路から外灯回路にするための結線替を行う。

工事名		図面名称		SCALE	DATE	担当			No
令和7年度 公園施設長寿命化対策支援事業 豊科南部総合公園キュービクル・テニスコート照明更新工事		予告回転灯設備を外灯に変更する工事		1/400	2024, 12				E- 14



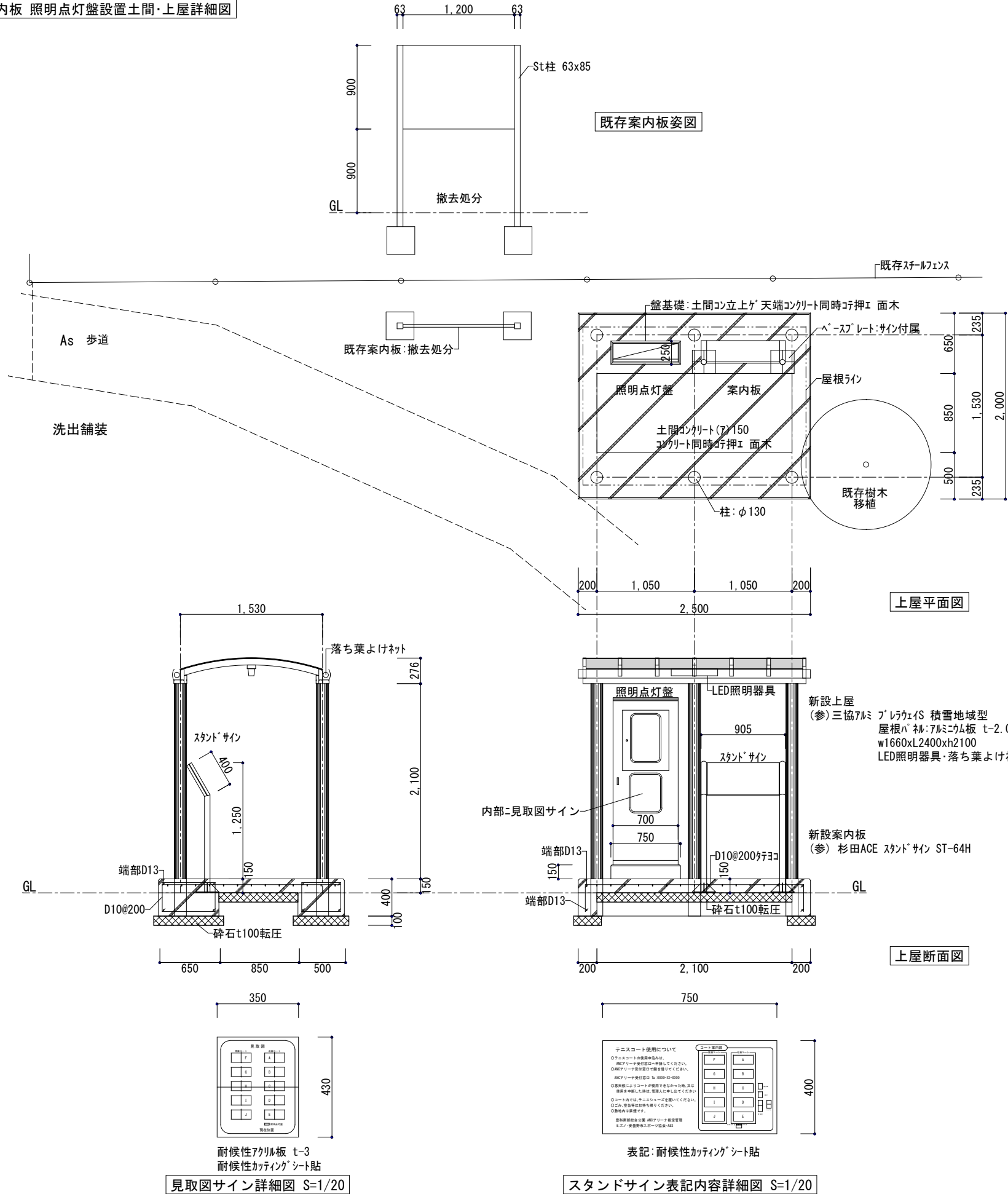
凡例

P番号		テニスコートのポールの再塗装	塗装工事リスト表 参照 (E-16)
盤番号		分電盤の再塗装	〃
PB, 番号		プルボックスの再塗装	〃
配管 1		配管の再塗装	〃

注記

- ・ 塗装工事は、建築工事分とする。
- ・ 足場は高所作業車とする。
- ・ 芝生の養生方法は打合せによる。

案内板 照明点灯盤設置土間・上屋詳細図



キュービクルフェンス詳細図

